

# ProVisionaire Control V1.0

## セットアップガイド

このたびは、ヤマハProVisionaire Control(プロビジョナーコントロール)をダウンロードいただき、ありがとうございます。

ProVisionaire Controlは、操作対象システム(CL/QL/TF、MTX/MRXシステムなど本アプリケーションから制御される機器で構成されたシステム)をWindowsコンピューターから有線LANやWi-Fiネットワークを通じてリモートコントロールするためのアプリケーションです。

ボタンやスライダーなどのさまざまなウィジェットを配置して自由にコントロールパネルをデザインできるので、使用形態に合ったカスタムパネルをシステムに用意できます。

### 本書をお読みになる方に

本書は、本アプリケーションを使ってカスタムコントロールパネルを設計/制作/設定する方を対象としたガイドブックです。一般ユーザー向けのガイドブックではありません。

### ご注意

- このソフトウェアおよびセットアップガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- このソフトウェアおよびセットアップガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびセットアップガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このセットアップガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 商用目的で音源を使う場合、著作権にご注意ください。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- アプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、ヤマハプロオーディオサイトからダウンロードできます。

<http://www.yamaha.com/proaudio/>

# 目次

---

ProVisionaire Controlでできること .....	5
ソフトウェアの動作環境.....	6
理解しておく用語/概念.....	7
インストールの手順.....	9
画面構成 .....	9
基本的なプロセス .....	11
起動し、機器を登録する.....	11
ページにウィジェットを配置する .....	13
識別しやすくする .....	15
ページを追加する .....	18
ページの背景を設定する.....	24
ウィジェットの配置を調整する.....	25
プロジェクトファイルを保存する .....	25
動作を確認する .....	26
セキュリティを設定する.....	27
コントローラファイルを作る .....	31
KIOSK を自動起動させる .....	31
MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する.....	32
イニシャルモード特有の機能.....	33
タイトルバー .....	34
メニューバー .....	36
ツールバー.....	41

<b>[Controllers] エリア</b> .....	<b>42</b>
ボタン .....	42
コンテキストメニュー .....	43
プロパティ .....	43
<b>[Devices] エリア</b> .....	<b>45</b>
ボタン .....	45
コンテキストメニュー .....	46
プロパティ .....	46
<b>[Widgets] エリア</b> .....	<b>47</b>
<b>ワークエリア</b> .....	<b>48</b>
ボタン .....	48
<b>[Properties] エリア</b> .....	<b>50</b>
ボタン .....	50
<b>ウィジェット</b> .....	<b>51</b>
ボタン .....	51
ボタンのプロパティ .....	51
スライダー .....	55
スライダーのプロパティ .....	55
ダイアル .....	57
ダイアルのプロパティ .....	57
メーター .....	59
メーターのプロパティ .....	59
ライン .....	61
ラインのプロパティ .....	61
シェイプ .....	62
シェイプのプロパティ .....	62

<b>ダイアログ</b> .....	<b>64</b>
[Setup] ダイアログ .....	64
[Network] タブ .....	64
[Security] タブ .....	65
[Other Settings] タブ .....	66
[New Project Wizard] ダイアログ .....	67
1/2 Create Controller .....	67
2/2 Add Device .....	68
[Add Controller] ダイアログ .....	69
[Imported Images] ダイアログ .....	69
[Add Device] ダイアログ .....	70
[Edit Text] ダイアログ .....	71
[Edit Device Identifier] ダイアログ .....	71
[Select Image] ダイアログ .....	72
[From Folder] タブ .....	72
[From Project File] タブ .....	73
Expansion Mode について .....	74
<b>IPアドレスの設定方法</b> .....	<b>75</b>
<b>Tips</b> .....	<b>76</b>
<b>困ったときは</b> .....	<b>77</b>

# ProVisionaire Controlでできること

---

- ProVisionaire Controlは特別なプログラミングの習得を必要とせず、直感的にスライダー、ボタン、写真などのウィジェットをページ(画面)上に配置し、設備物件内容や使用形態に応じたお客様オリジナルのコントロールパネルを作成できます。
- 対象モデルを限定せずに、1つのページに複数の機器のウィジェットを最大1000個まで配置できます。
- ページはコントローラー1つあたり最大50ページ用意できますので、エリア、ユーザーごとのコントロールパネルを作ったり、特定のプリセット、パラメーターの状態に応じたデザインページを制作できます。そしてコントロールパネルやデザインページをアクセス制御することで、より安全で利便性の高いコントローラーの運用が可能となります。
- 完成したコントロールパネルのデータはコントローラー単位でProVisionaire Control KIOSK(以降KIOSK)用のファイルとしてエクスポートできます。複数台でコントローラーを同じ物件で使用したり、テンプレートとして保存し、別の物件での使用や共有をすることで、効率的で便利なコントローラー制作が可能となります。
- 操作対象システムとはWi-Fi経由でも接続できますので、タブレットPCを壁へ埋込むだけでなく、持ち歩いて操作することで、小回りの利く便利なリモートコントローラーとして運用できます。

## ソフトウェアの動作環境

---

OS	Windows 7 (32bit/64bit) Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows 10 (32bit/64bit)
CPU	インテル Atom/Core i以降
メモリー	2GB以上
HDD/SSD	100MB以上
その他	Ethernet(1000BASE-T以上)搭載環境またはWi-Fi機能搭載環境

### NOTE

上記の動作環境はProVisionaire Controlバージョン1.0.0に対するものです。ソフトウェアの最新バージョンおよび動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。

<http://www.yamaha.com/proaudio/>

お使いのコンピューターによっては、動作環境以上の条件を必要とする場合があります。

# 理解しておく用語/概念

## ロール

ProVisionaire Controlでは以下のロール(役割)があります。

- **Administrator(管理者)**  
コントロールパネルを設計/編集する人(主に施工会社の方)。このセットアップガイドを読む人です。機能制限解除をするためのAdministrator Code(4桁)を知っています。
- **Power User(パワーユーザー)**  
設備の音響責任者など。アクセス制限をかけたページへの移動や、設定ファイルの変更をするためのPower User Code(4桁)を知っています。
- **Staff(スタッフ)**  
パラメーターを操作する人。スクリーンロックを解除するためのUnlock Code(4桁)を知っています。
- **Guest(ゲスト)**  
訪問客など操作権限がない人。

各ロールでできることは以下となります。

	Administ-rator	Power User	Staff	Guest
スクリーンロック解除	—	—	✓	—
パラメーター操作	✓	✓	✓	—
コントローラーファイルの変更	✓	✓	—	—
デザインの変更	✓	—	—	—

## 単位

ProVisionaire Controlでは構成を考える上で以下の単位があります。

- **プロジェクト**  
案件別の単位。建物全体やホール全体という単位で使用します。
- **コントローラー**  
ProVisionaire Control KIOSKで扱う単位。舞台袖やFoHなどの場所別や使用者別に作成できます。1つのプロジェクトにつき20個までのコントローラーが作成できます。
- **ページ**  
デバイスを制御する際の、「複数のウィジェット(ボタンやスライダーなど)から構成される画面」をページと呼んでいます。1つのコントローラーにつき50ページまで作成できます。ホームページに設定されたページがProVisionaire Control KIOSKでファイルを開いたときに表示されます。

## ファイル

ProVisionaire ControlおよびProVisionaire Control KIOSKでは以下のファイルを使用します。

- **プロジェクトファイル(拡張子.pvcproj)**

ProVisionaire Controlのすべての設定が記述されているファイル。複数のコントローラー情報やページ情報や画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

- **コントローラーファイル(拡張子.ypvc)**

ProVisionaire Control KIOSK用の読み込み専用設定ファイル。1つのコントローラー情報や複数のページ情報、画像、制御デバイスの情報などが記述されています。

## モード

ProVisionaire ControlやProVisionaire Control KIOSKでは以下のモードがあります。

- **Initial Mode(イニシャルモード)**

ファイルが読み込まれていないモード。このモードからファイルを読み込む操作をすることでProVisionaire ControlはDesign Modeに、ProVisionaire Control KIOSKではControl Modeに遷移します。

- **Design Mode(デザインモード)**

ProVisionaire Controlでコントローラー / ページの作成や編集をするためのモード。ProVisionaire Control KIOSKにはありません。Administratorの権限が必要です。この状態では操作対象システムとオンラインになっていません。

- **Control Mode(コントロールモード)**

ProVisionaire Control KIOSKでネットワーク上の機器群とオンラインにしてコントロール/モニターするためのモード。コントローラーファイルの変更にはAdministratorかPower Userの権限が必要です。

## その他

このセットアップガイドでは以下の用語も使用します。

- **Widget(ウィジェット)**

スライダーやボタン、画像などのGUIパーツ。これらのパーツはデバイスのパラメーターを割り当て、フェーダーやOn/Offのパラメーターと同期させることができます。

- **KIOSK(キオスク)**

ProVisionaire Control KIOSKの略称として使用します。KIOSKはコントロールに特化したアプリケーションで、パワーユーザーやスタッフが使用します。

## インストールの手順

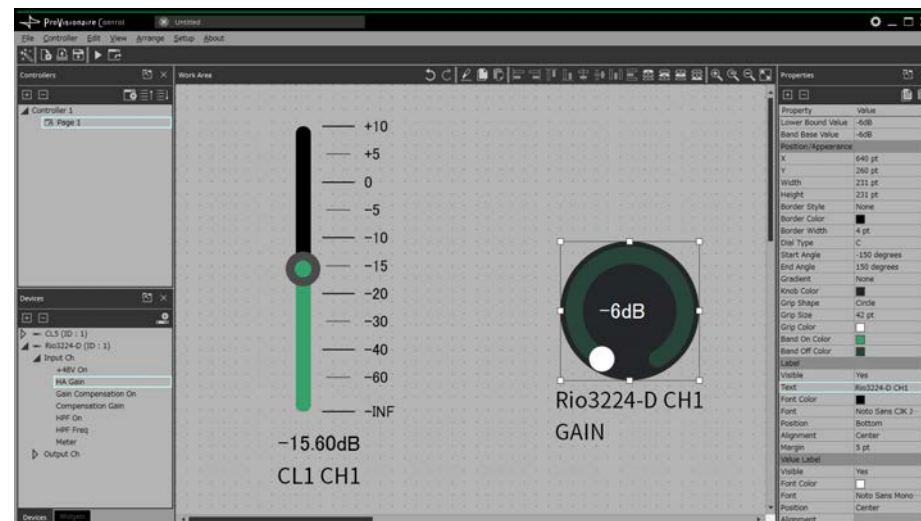
ProVisionaire ControlおよびKIOSKのインストーラーはヤマハプロオーディオサイトからダウンロードしてください。サイトの[製品情報]→[ソフトウェア・周辺機器]→[アプリケーション]のページにリンクがあります。



<http://www.yamaha.com/proaudio/>

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、setup.exeをダブルクリックしたあと、インストーラーに従ってインストールしてください。

## 画面構成

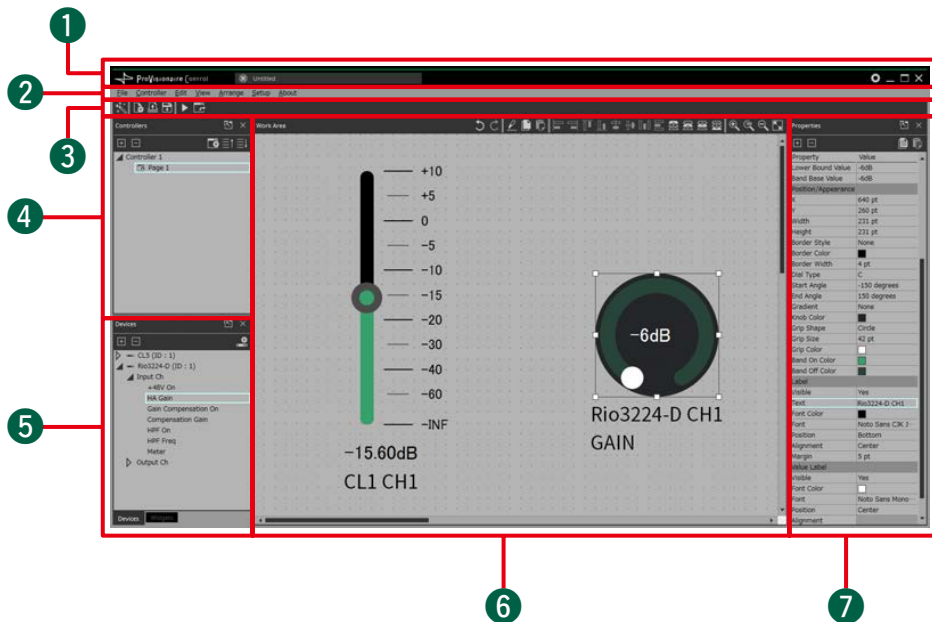
ProVisionaire Controlのデザインモードは「タイトルバー」「メニューバー」「ツールバー」「Controllersエリア」「Devicesエリア」「Widgetsエリア」「ワークエリア」「Propertiesエリア」から構成されています。



ワークエリア以外のエリアの右上には  がありますが、クリックするとエリアがフロート化(Undock)して、ワークエリアを広く使うことができます。フロート化を解除する場合は右上にある  をクリックしてください。

また、「View」メニューの[Dock All]を実行すると、すべてのエリアのフロート化が解除されます。

ワークエリアとエリアの境部分にカーソルを置くと、カーソルの形状が変わり、ドラッグすることでエリアの幅を変更できます。



### ① タイトルバー

プロジェクトファイル名を表示します。また、[Setup] ボタンなどを配置しています。(34ページ)

### ② メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリごとにまとめられています。(36ページ)

### ③ ツールバー

よく使うコマンドをボタンにして配置しています。(41ページ)

### ④ [Controllers] エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストです。コントローラーやページの追加もこのエリアで行ないます。(42ページ)

### ⑤ [Devices] / [Widgets] エリア

[Devices] はプロジェクトで使用する機器とパラメーターのリストです。(45ページ)  
[Widgets] は使用可能なウィジェットのリストです。(47ページ)

### ⑥ ワークエリア

[Devices] / [Widgets] エリアからドラッグ&ドロップしてウィジェットの配置をするエリアです。(48ページ)  
上部によく使う機能をボタンにしています。

### ⑦ [Properties] エリア

現在選択されているウィジェット、ページ、コントローラー、機器の情報のリストです。クリックすることで編集できます。内容については各エリアやウィジェットの説明ページを参照してください。

# 基本的なプロセス

簡単なページの制作を例に、起動から機器をコントロールするまでのプロセスを解説します。今回はCL5(コンソールID=1)のインプットチャンネル1のレベルとオン/オフを配置します。

MRXの場合はこの手順ではウィジェットの配置ができませんので、[「MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する」](#)を参照してください。

## 起動し、機器を登録する

ProVisionaire Controlを起動し、コントローラーとページを作成し、制御する機器を登録しましょう。

### 1. ProVisionaire Controlを起動する。

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]または[すべてのアプリ]→[Yamaha ProVisionaire Control]→[ProVisionaire Control V1.0]を選択すると起動します。

### 2. プロジェクトを新規に作成する場合は、[New Project]をクリックする。

既存のファイルを読み込む場合は、[File]メニューから[Open Project File]を選択して、読み込むファイルを選択する。

ここでは[New Project]をクリックした場合を説明します。

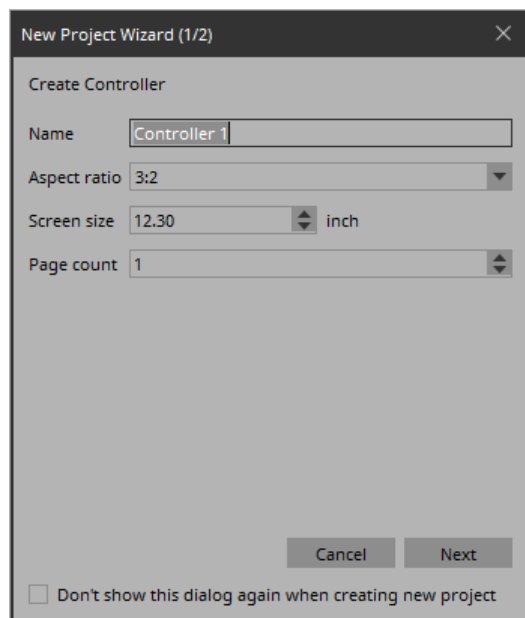


3. 「Network Setup」ダイアログが表示されたら、[OK]または[Cancel]をクリックする。

ProVisionaire Controlが起動し、「New Project Wizard」ダイアログが開きます。

**NOTE**

コントロール対象の機器が手元にある場合、ProVisionaire Controlがインストールされたコンピューターをネットワークにつなげることで、機器を認識します。「Devices」エリアの該当機器を右クリックして[Add]を選択することで登録します。



4. コントローラーを動かす端末画面(KIOSKがインストールされる施工先のコンピューターの画面)に合わせた設定をして[Next]ボタンをクリックする。

この例では初期設定のままとします。  
[Aspect ratio]以外はあとで変更可能です。

**Tips**

画面のアスペクト比がわからない場合は、[3:2]を選択して、ウィジェットを配置します。

アスペクト比が確定したら、該当するコントローラーを作成し、ページごとに<Ctrl>+<A>で全ウィジェットを選択したあと、<Ctrl>+<C>でコピーし、新しいコントローラーのページに<Ctrl>+<V>でペーストしてから再配置するという方法があります。

5. 「Device Type」で[Digital Mixers]、「Model」で[CL5]、「Match Device by」で[ID]、「Unit ID」で[1]、「Count」で[1]を設定して、[Add]ボタンをクリックする。

ID=1のCL5が「Devices」エリアに追加され、ダイアログが閉じます。

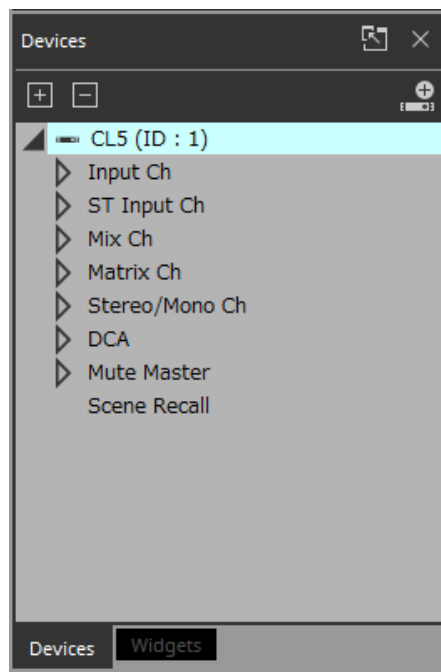


## ページにウィジェットを配置する

CL5のパラメーターがコントロールできるように、ワークエリアにウィジェットを配置しましょう。

1. 「Devices」エリアの「Device List」のCL5の左側にある三角形 ▶ をクリックする。

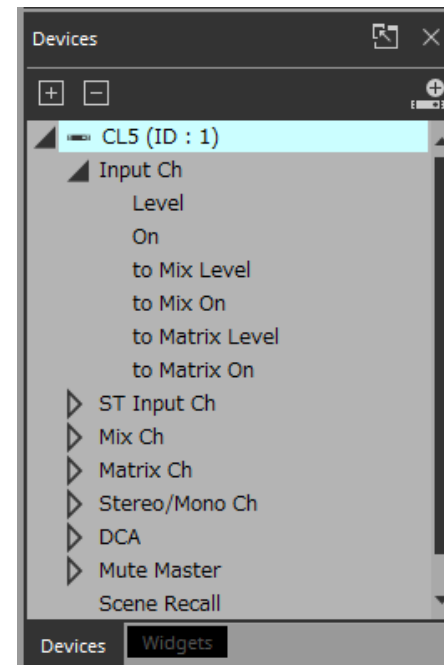
パラメーターグループが展開されます。



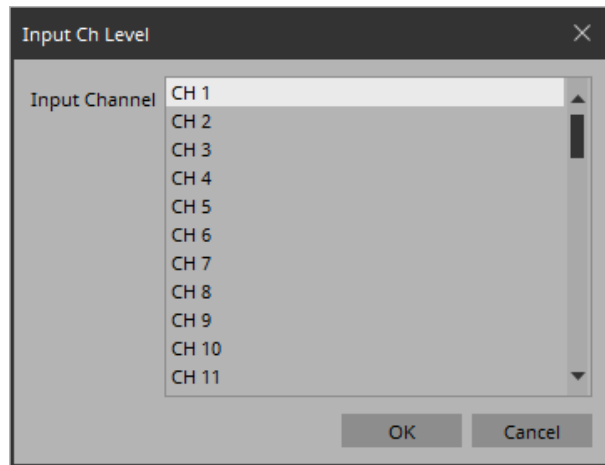
2. 配置したいパラメーターが属するパラメーターグループの左側にある三角形 ▶ をクリックする。

パラメーターが展開されます。

今回は入力チャンネル1のレベルとオン/オフなので [Input Ch] が対象です。



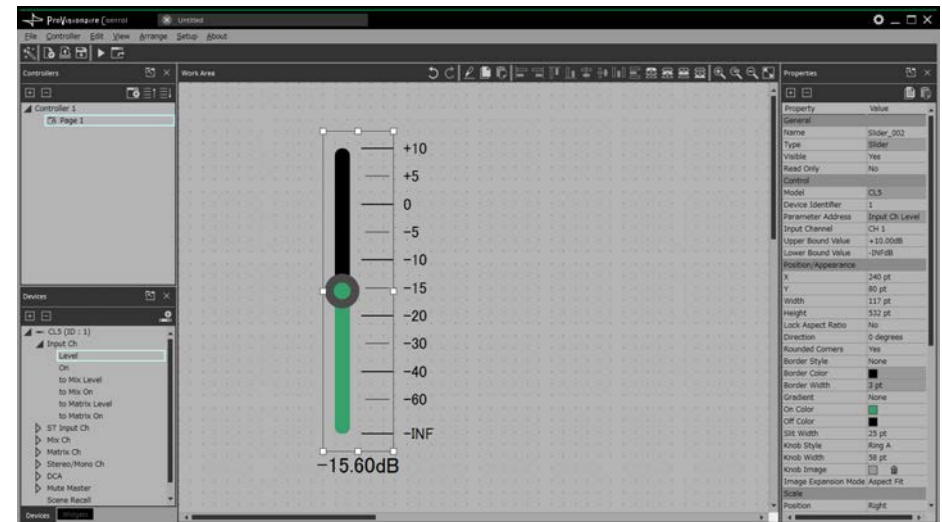
3. [Level]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。  
[Input Ch Level] ダイアログが開きます。



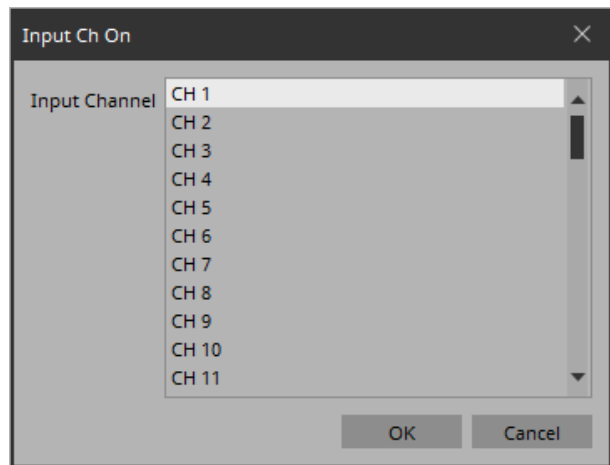
### Tips

<Ctrl>キーや<Shift>キーを押しながら選択することで、複数のチャンネルを選択でき、複数のスライダーを同時に配置できます。

4. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。  
ワークエリアにスライダーが配置されます。



5. [On]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。  
「Input Ch On」ダイアログが開きます。

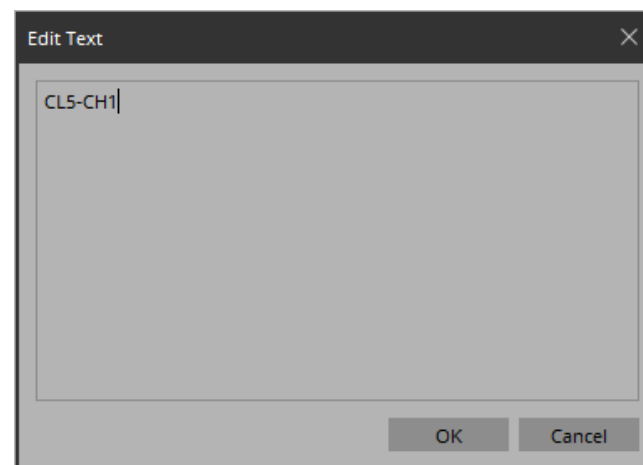


6. [CH1]を選択して、[OK]ボタンをクリックする。  
ワークエリアにボタンが配置されます。
7. スライダーやボタンをドラッグ&ドロップして好きな位置に配置する。

## 識別しやすくする

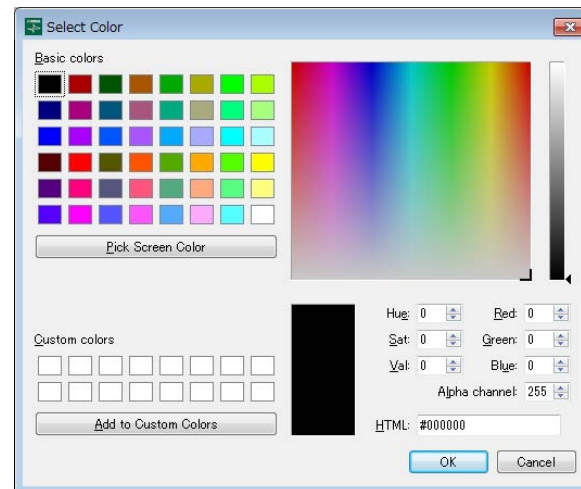
ウィジェットを配置しただけではKIOSKではどのようなウィジェットなのか識別できないので、KIOSKでも識別できるようにしましょう。

1. スライダーをクリックする。  
スライダーが選択された状態になります。
2. 「Properties」エリアの「Label」の「Text」の右側の欄をクリックする。  
「Edit Text」ダイアログが開きます。
3. スライダーの名称を入力する。  
今回は「CL5-CH1」とします。

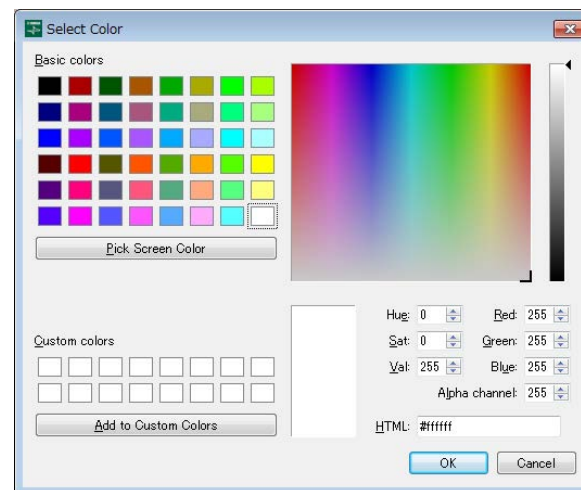


4. [OK] ボタンをクリックする。  
入力が確定して、スライダーの下に名称が表示されます。
5. ボタンにも同様に「CL5-CH1」というラベルをつける。
6. ボタンの「Properties」エリアの「Text」の「On Text」の右側の欄をクリックする。  
「Edit Text」ダイアログが開きます。
7. オンの時のテキストを入力する。  
今回は「ON」とします。
8. 「Text」の「Off Text」の右側の欄をクリックする。  
「Edit Text」ダイアログが開きます。
9. オフの時のテキストを入力する。  
今回は「OFF」とします。

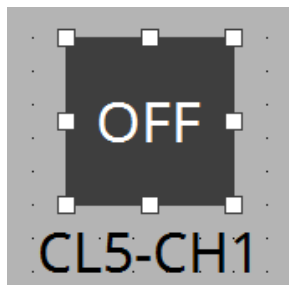
10. 「Text」の「Off Color」の右側の欄をクリックする。  
「Select Color」ダイアログが開きます。



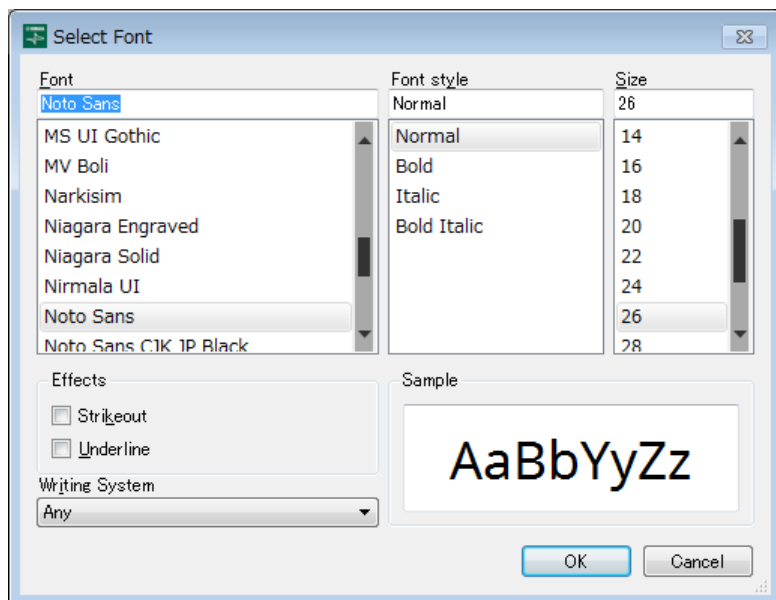
11. ボタンの背景色が黒系なので、オフの時の文字を他の色を選択する。  
今回は白色とします。



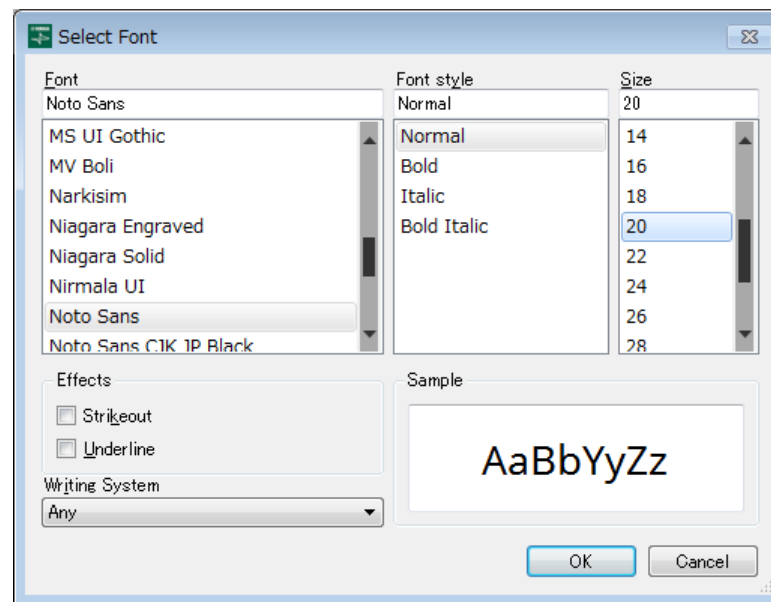
- 12.** [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じて、オフの時の文字色が白になります。



- 13.** 「Text」 の 「Font」 の右側の欄をクリックする。  
「Select Font」 ダイアログが開きます。



- 14.** ボタンがオン/オフの時の文字列に関するフォントの調整をする。  
今回は文字の大きさを20ポイントとします。

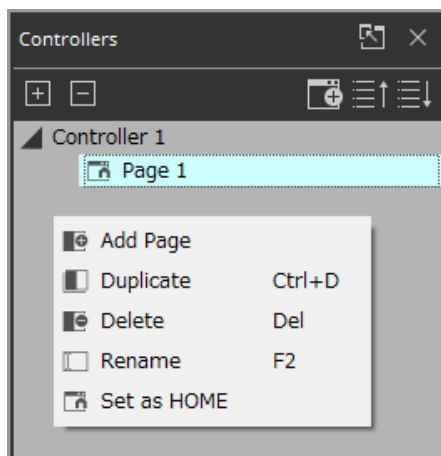


- 15.** [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じて、オン/オフの時の文字サイズが変化します。

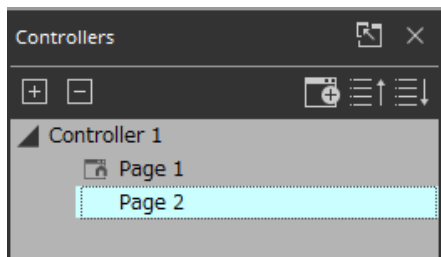
## ページを追加する

コントローラーにページを追加して、ページを切り替えるためのボタンを追加しましょう。

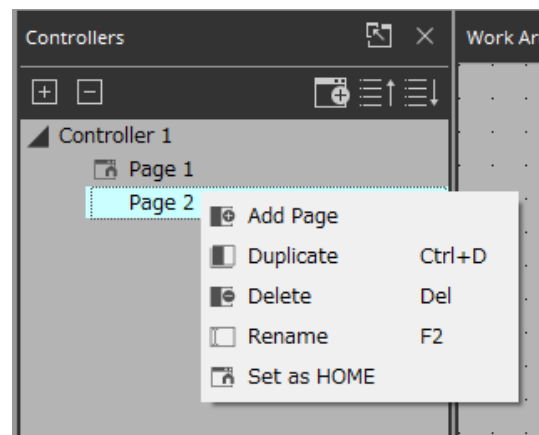
1. 「Controllers」 エリアの任意の場所で右クリックする。  
コンテキストメニューが表示されます。



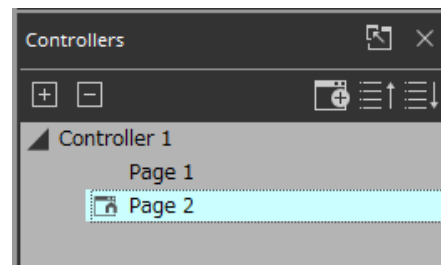
2. 「Add Page」を選択する。  
[Controller 1]にページが追加され、ワークエリアが追加したページのものに切り替わります。



3. 追加されたページを右クリックする。  
コンテキストメニューが表示されます。



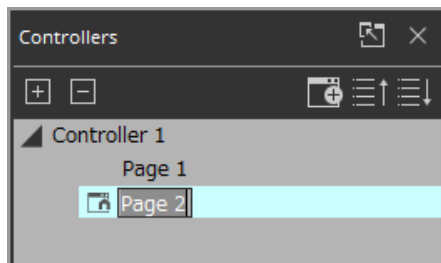
4. 「Set as HOME」を選択する。  
追加したページがホームページとなります。



5. 追加されたページを右クリックする。  
コンテキストメニューが表示されます。

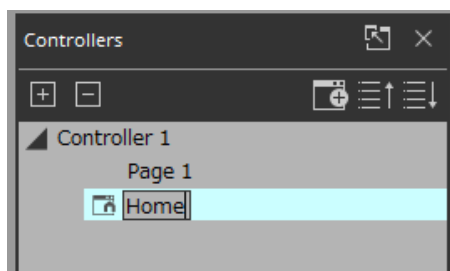
## 6. [Rename]を選択する。

ページの名称が変更できるようになります。



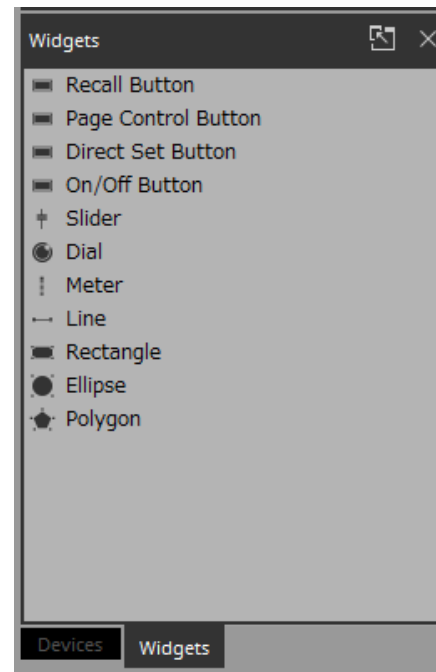
## 7. ページの名称を入力する。

今回はこのページがホームページなので、「Home」とします。



## 8. [Devices] エリアの[Widgets]タブをクリックする。

エリアが「Widgets」エリアに切り替わります。

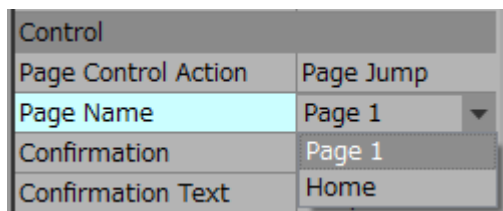


## 9. [Page Control Button]をワークエリアにドラッグ&ドロップする。

ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置されます。

**10.** 「Properties」 エリアの 「Control」 の 「Page Name」 の右側の欄をクリックする。

ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示されます。



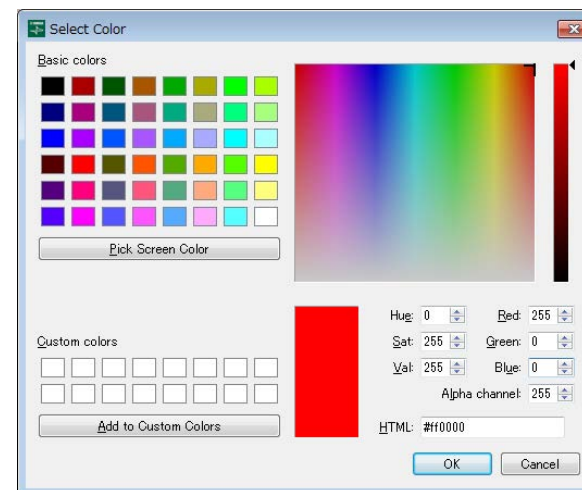
**11.** [Page 1]を選択する。

コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると「Page 1」に切り変わるようになります。

**12.** 「Appearance」 の 「Color」 の右側の欄をクリックする。

「Select Color」 ダイアログが開きます。

**13.** ボタンをクリックしたときの色を選択する。  
今回は赤色とします。

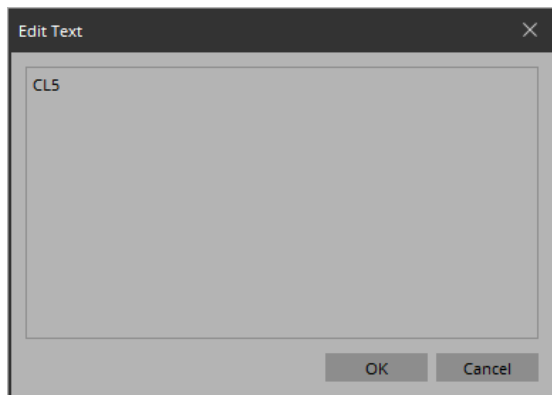


**14.** [OK]ボタンをクリックする。

ダイアログが閉じて、ボタンの色が赤になります。

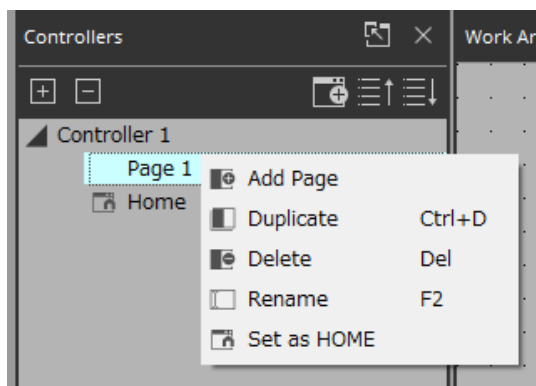
**15.** 「Label」 の 「Text」 の右側の欄をクリックする。  
「Edit Text」 ダイアログが開きます。

- 16.** ボタンの名称を入力する。  
今回は「CL5」とします。

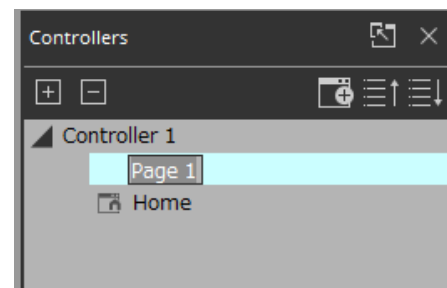


- 17.** [OK] ボタンをクリックする。  
ボタンの下に「CL5」と表示されます。

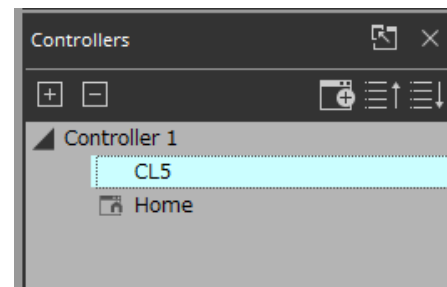
- 18.** 「Controllers」 エリアの「Page 1」を右クリックする。  
Page 1のワークエリアが表示され、コンテキストメニューが表示されます。



- 19.** [Rename] を選択する。  
「Page 1」の名称をキーボードで入力できるようになります。

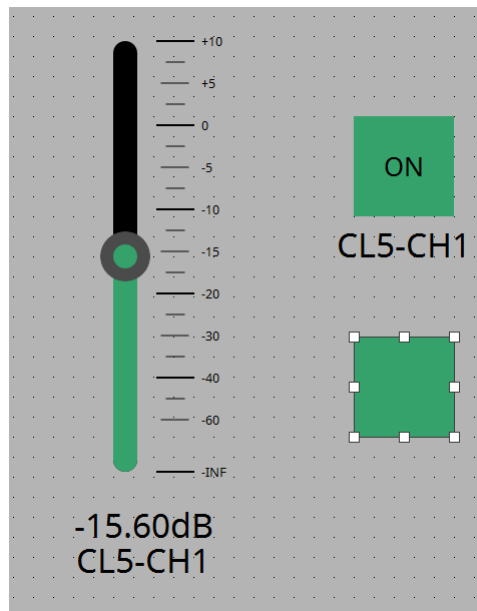


- 20.** ページの名称を入力する。  
今回はこのページがCL5専用なので、「CL5」とします。



**21.** [Widgets] エリアの[Page Control Button]をワーク  
エリアにドラッグ&ドロップする。

ページを切り替えるためのボタンがワークエリアに配置  
されます。



**22.** [Properties] エリアの [Control] の [Page Name]  
の右側の欄をクリックする。

ボタンをクリックすると切り替えるページがリスト表示  
されます。

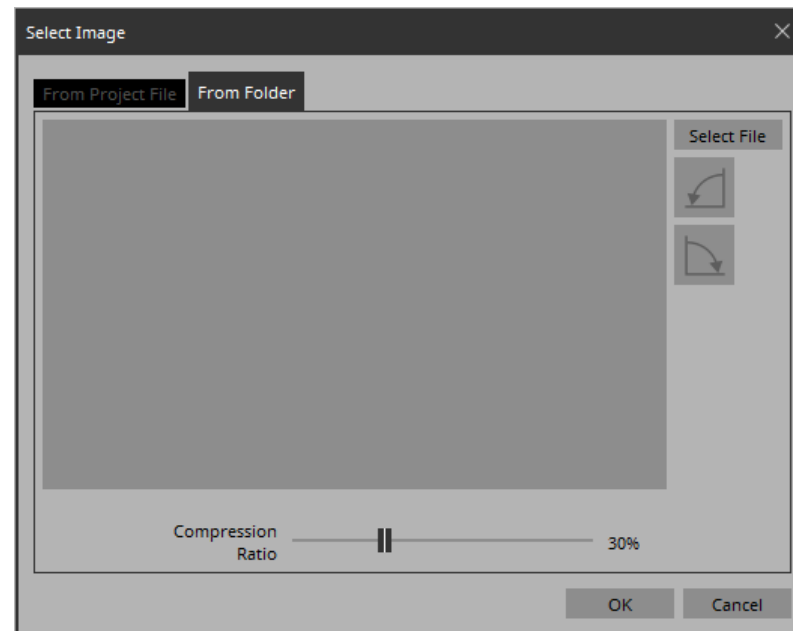
Control	
Page Control Action	Page Jump
Page Name	CL5
Confirmation	CL5
Confirmation Text	Home

**23.** [Home] を選択する。

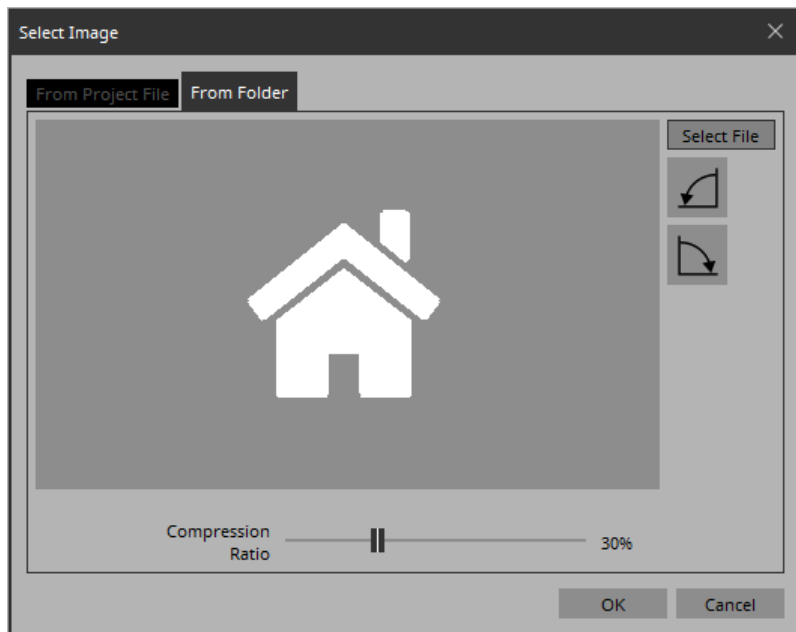
コントロールモードのときに、ボタンをクリックすると  
[Home] に切り変わるようになります。

**24.** [Appearance] の [Image] の右側の□をクリックす  
る。

[Select Image] ダイアログが開きます。



- 25.** [Select File] ボタンをクリックして、コンピューター内の画像ファイルを選択する。  
今回は白い家アイコンにします。



- 26.** [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じ、「Home」ページに移動するためのボタンの中に画像が反映されます。

## ページの背景を設定する

背景を設定する場合、ウィジェットの配置を調整する前に背景を設定した方が早く作業が完了します。

1. ワークエリアのウィジェットがない場所をクリックする。  
「Properties」がページの設定になります。

Property	Value
Name	CL5
Comment	
Background Color	<input type="checkbox"/>
Background Image	<input type="checkbox"/>
Image Expansion Mode	Aspect Fit
HOME Page	No
Snap to Grid	Yes
Dot Color	
Cell Width	20 pt

2. 「Background Image」の右側のをクリックする。  
「Select Image」ダイアログが開きます。
3. 「From Folder」タブをクリックする。


4. 「Select」ボタンをクリックして、画像を選択する。



5. 「Select Image」ダイアログで「Compression Ratio」スライダーを使って圧縮率を変える。  
この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。  
ファイルサイズが大きいとアプリケーション全体の動作に影響を及ぼすため、ある程度圧縮してファイルサイズを小さくすることをおすすめします。
6. 「OK」ボタンをクリックする。

## ウィジェットの配置を調整する

配置したウィジェットを俯瞰しながら調整しましょう。

1. メニューバーにある [Fit to screen] ボタン  をクリックして、ページ全体が見えるようにする。




2. ウィジェットをクリックして、枠に表示される白い四角をクリック&ドラッグして大きさを調整する。
3. ウィジェットをクリック&ドラッグして位置を調整する。
4. 必要に応じて「Properties」エリアでラベルの文字サイズなどを調整する。

この作業を各ページで実施してください。


## プロジェクトファイルを保存する

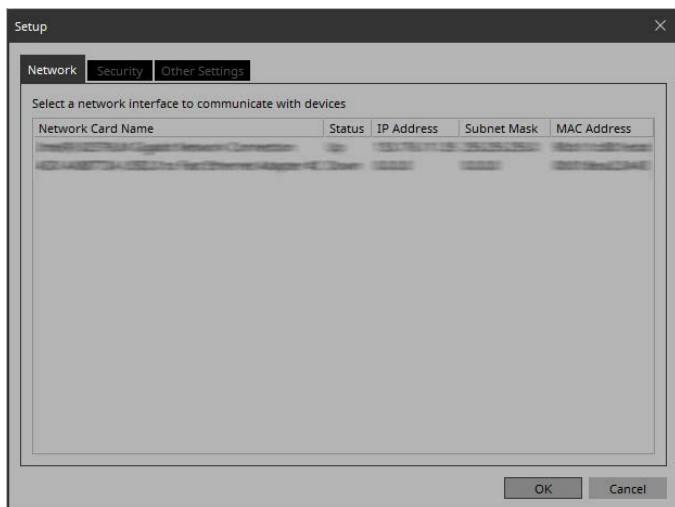
ここまで作ったプロジェクトファイルを保存しましょう。


1. メニューバーにある [Save] ボタン  をクリックする。  
既に存在するファイルの場合は上書き保存されます。ファイル保存されていない場合は「Save File」ダイアログが開きます。
2. 「Save File」ダイアログが開いた場合、ファイルの保存先を指定し、ファイル名をつけて保存する。

## 動作を確認する

各ページのウィジェットを操作して、動作を確認しましょう。ここでは対象となる機器があるという想定です。対象の機器が無い場合は、コントローラーファイルを作る前に確認してください。

1. 機器の電源を入れる。
2. コンピューターを機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげる。  
コンピューター側の設定については [\[IPアドレスの設定方法\]](#) を参照してください。
3. タイトルバーにある [Setup] ボタン  をクリックする。  
[Setup] ダイアログが開きます。



4. 機器のNETWORK端子がつながっているネットワークにつなげたネットワークインターフェースカードを選択する。
  5. [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じます。
  6. [Controllers] エリアで操作するコントローラーを選択する。
  7. ツールバーにある [Run] ボタン  をクリックする。  
ProVisionaire Control KIOSKが起動します。
- NOTE**  
ボタンをクリックして起動したKIOSKは、単体で起動したKIOSKとは [Setup] ボタンがないなどの違いがあります。
8. 右上で「All Devices are ONLINE」と表示されていることを確認する。  
「All Devices are OFFLINE」の場合、KIOSKが機器を認識できていません。機器とコンピューターのネットワークの設定が正しいか確認してください。
  9. 「CL5」と名付けたボタンをクリックする。  
ページが移動します。
  10. フェーダーやボタンを操作して、機器と連動していることを確認する。  
配置等を変更する場合は、KIOSKを終了して、「ウィジェットの配置を調整する」を実施してください。KIOSKが起動したままだと変更が反映されません。

11. KIOSKを終了する。

## セキュリティを設定する

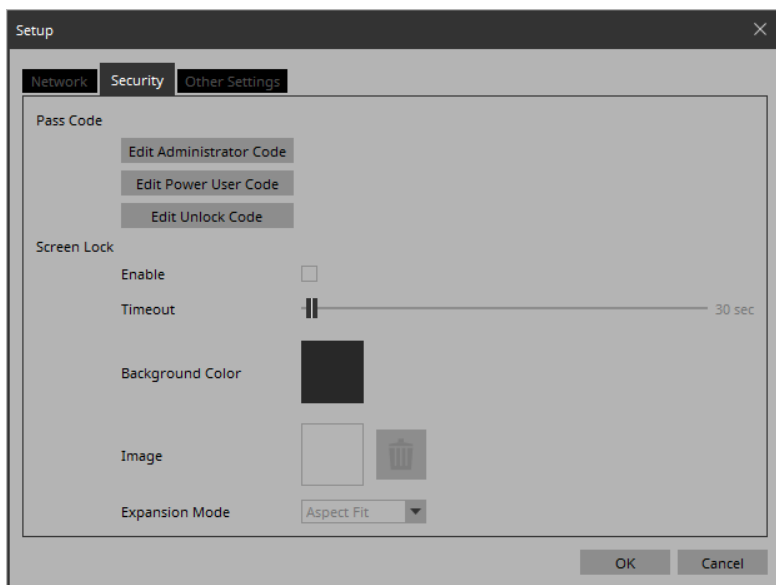
スクリーンロック解除などに使う各種パスコードやスクリーンロックの設定などをしましょう。

1. タイトルバーにある [Setup] ボタン  をクリックする。

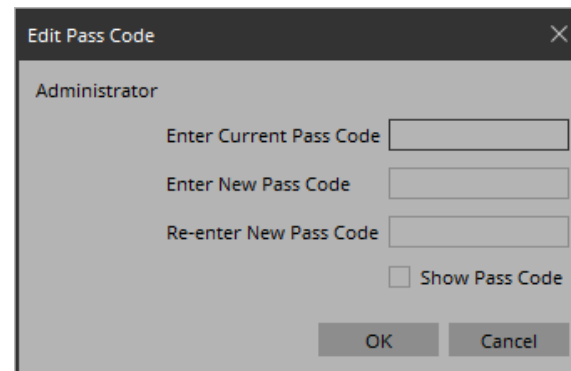
[Setup] ダイアログが開きます。

2. [Security] タブをクリックする。

セキュリティ関連の設定画面に切り替わります。

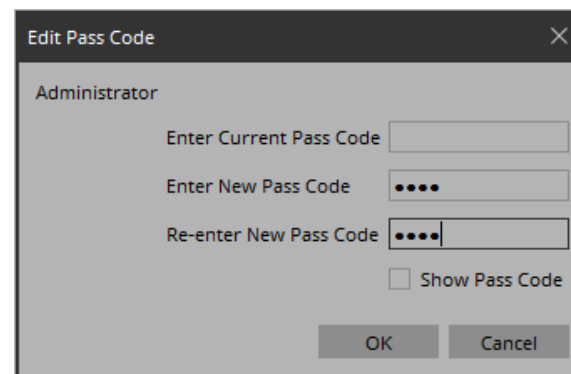


3. [Edit Administrator Code] ボタンをクリックする。  
左上に「Administrator」と表示されている [Edit Pass Code] ダイアログが開きます。

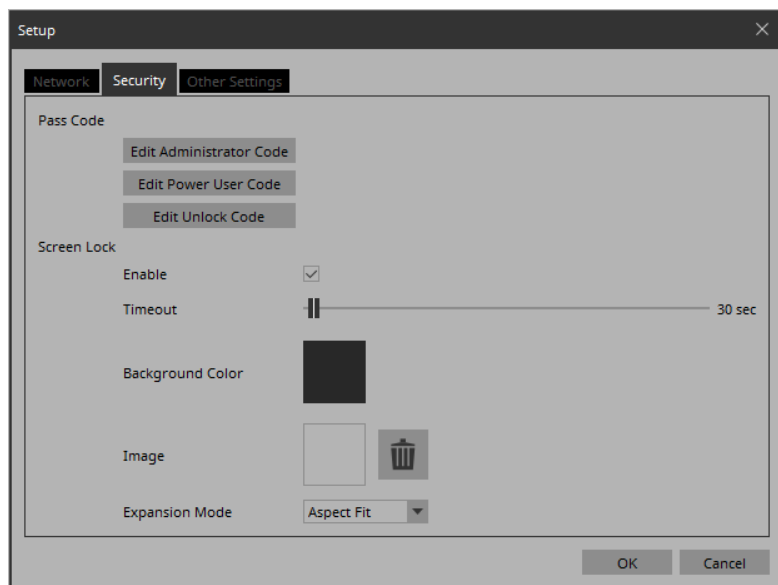


4. [Enter New Pass Code] テキストボックスと [Re-enter New Pass Code] テキストボックスに4桁の同じ数字を入力する。

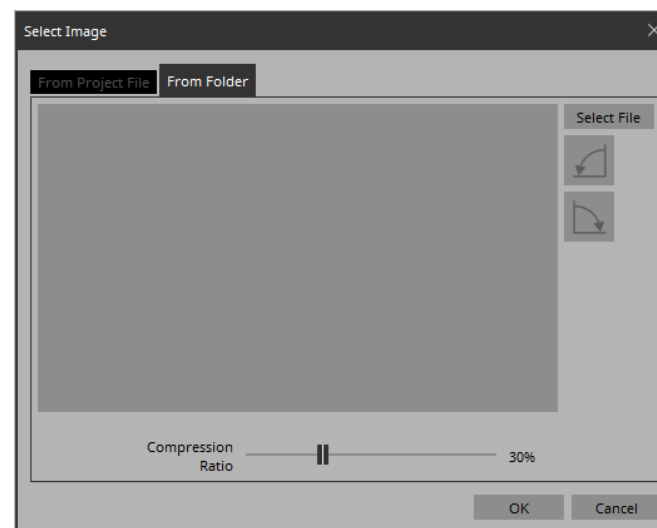
入力した数字が管理者用のパスコードになります。  
初期値ではパスコードが設定されていないので、[Enter Current Pass Code] テキストボックスは空の状態にしてください。



5. [OK] ボタンをクリックする。  
Administrator用のパスコードが確定します。
6. 同様に[Edit Power User Code] ボタンや[Edit Unlock Code] ボタンをクリックして、パワーユーザーやスタッフ用のパスコードを設定する。  
スタッフ用のパスコードはパワーユーザーが変更できるので、パワーユーザーにスタッフ用のパスコードを設定してもらうのであれば、設定はしないというやり方もあります。
7. Screen Lockの[Enable]チェックボックスにチェックを入れる。  
スクリーンロックの設定ができるようになります。



8. [Timeout] スライダーを操作して、最後に操作してから何秒後にスクリーンロック状態になるか設定する。
9. スクリーンロック状態になったときの表示を設定する。  
無地の場合は[Background Color]の色欄をクリックしてください。色の選択画面が表示されます。  
画像の場合は[Image]右横の枠をクリックしてください。今回は画像を設定しますので、枠がクリックされたとします。
10. [From Folder] タブをクリックする。  
コンピューター内の画像ファイルを適用する画面に切り替わります。



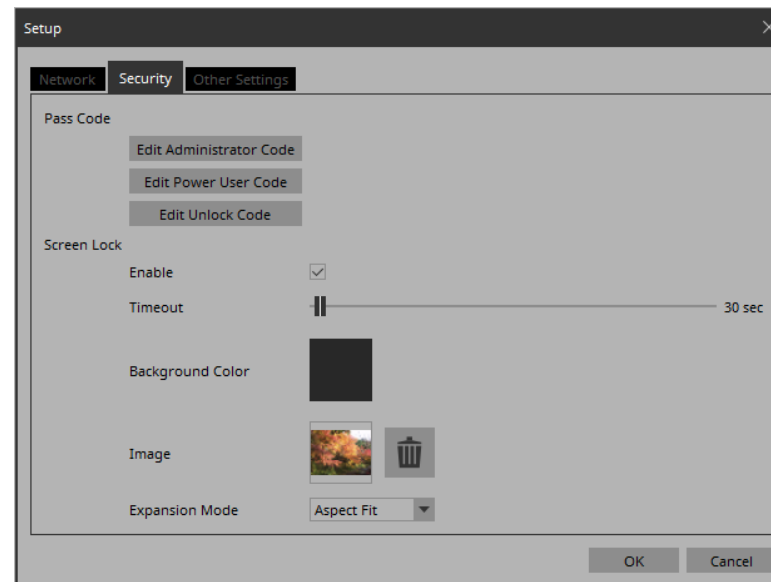
**11.** [Select File] ボタンを押して、スクリーンロック時に画面に表示する画像ファイルを選択する。

**12.** 「Select Image」 ダイアログで[Compression Ratio] スライダーを使って圧縮率を変える。

この画像データはプロジェクトファイルやコントローラーファイルの中に取り込まれるため、圧縮率が低いほどファイルサイズが大きくなります。



**13.** [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じて、「[Setup]」ダイアログに戻ります。

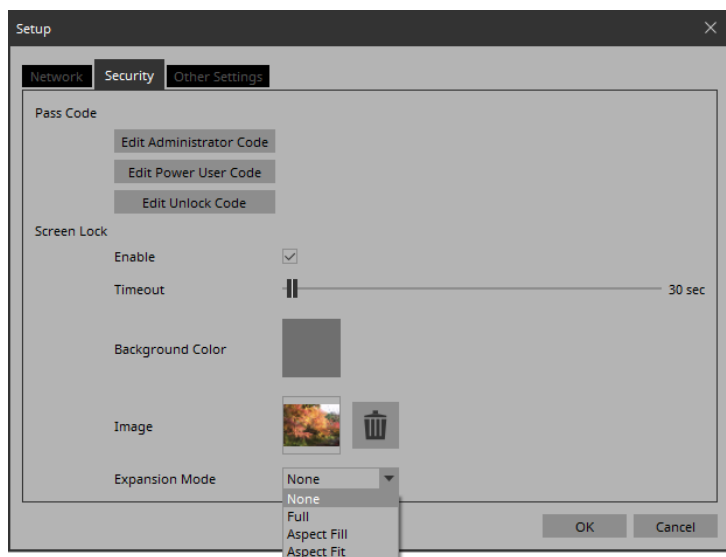


**14.** [OK] ボタンをクリックする。  
ダイアログが閉じます。

**15.** ツールバーにある[Run] ボタン  をクリックする。  
ProVisionaire Control KIOSKが起動します。

## 16. [Timeout]スライダーで設定した時間操作をしない。

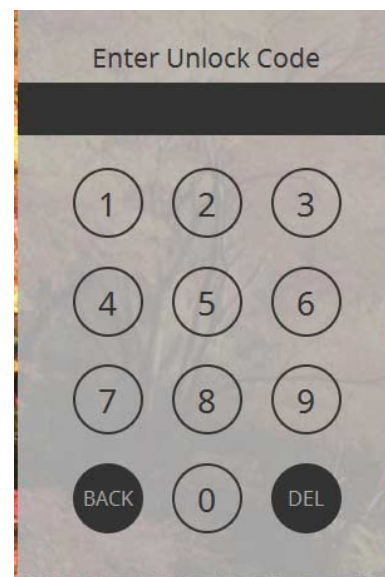
スクリーンロック画面に切り替わります。  
画像の見え方を変える場合は、KIOSKを終了して、「Setup」ダイアログの[Security]タブにある[Expansion Mode]で見え方の設定を変えてください。



## 17. スクリーンロック画面をクリックする。

スクリーンロックを解除するための「Enter Unlock Code」が表示されます。

手順6で「Edit Unlock Code」を設定していなかった場合は、「Enter Unlock Code」が表示されずに画面に戻ります。



## 18. 手順6で設定したUnlock Codeをクリックして入力する。

## コントローラーファイルを作る

実際の操作端末にインストールされるKIOSKのために、コントローラーファイルを作りましょう。

1. [Controllers] エリアで、コントローラーファイルを作成するコントローラーを選択する。
2. ツールバーにある[Export] ボタン  をクリックする。  
[Export Controller File] ダイアログが開きます。
3. 任意のファイル名をつけて、[保存]をクリックする。  
コントローラーファイルが保存されます。

## KIOSKを自動起動させる

操作端末のWindowsが起動したときに、自動的にKIOSKが起動して、特定のコントローラーファイル(ypvc)が開くようにしましょう。

1. 操作端末を起動する。
2. KIOSKをインストールする。
3. 以下フォルダーにコントローラーファイルを置く。  
C:¥Users¥xxxx¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥Startup  
xxxxはコンピューターにログインするときのユーザー名です。  
¥Start Menu¥Programs¥Startupは各言語に翻訳されて表示される場合があります。  
エクスプローラーでAppDataフォルダーが表示されない場合は、アドレスバーに直接フォルダ名を入力してください。
4. コンピューターを再起動する。  
ログインするとKIOSKが起動し、コントローラーファイルが開きます。初回は「Setup」ダイアログが開きますので、コントロール対象の機器と同じネットワークにつなげるインターフェイスを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

**以上で一通りの操作は終了です。**

## MTX/MRXシステムのパラメーターやメーターを追加する

MRXはフリーコンフィグのため、他のモデルのようにパラメーターやメーターをProVisionaire Controlにあらかじめ登録しておくことができません。

MRXのパラメーターやメーターをワークエリアに配置するためには、MRX Designerを起動して、MRX Designerの「Parameters」エリアやコンポーネントエディターからパラメーターやメーターをProVisionaire Controlのワークエリアに<Ctrl>キーを押しながらドラッグ&ドロップすることで配置できます。




同様にMTX-MRX EditorからMRXを除くMTX/MRXシステムのパラメーターやメーターをProVisionaire Controlのワークエリアに<Ctrl>キーを押しながらドラッグ&ドロップすることでパラメーターを配置できます。


## イニシャルモード特有の機能

---

イニシャルモードでは今まで開いたことのあるファイルを一覧で表示します。

イニシャルモードでは右上にファイル一覧を操作するメニューを用意しています。

メニュー	概要
[Load]	選択したファイルを開きます。
[Favorite]	ファイルにマーク  をつけます。 もう一回クリックするとマークが消えます。
[Remove from History]	選択したファイルを一覧から削除します。 ファイルそのものは削除されません。

一覧に無いファイルを開く場合は、左上にある [Open Project File] ボタン  をクリックして、ファイルを開くか、ファイルをダブルクリックしてください。

# タイトルバー

現在開いているファイル名を表示したり、画面表示の設定変更などのボタンが配置されています。

## • ProVisionaire Control



## • ProVisionaire Control KIOSK



### ① [Close File] ボタン

開いているプロジェクトファイルまたはコントローラファイルを閉じます。

### ② ファイル名

開いているファイル名を表示します。

### ③ [Page List] ボタン

ページを変更するページリストを表示します。

### ④ [Device Info] ボタン

コントローラファイルに登録されている機器の情報を表示します。

### ⑤ オンラインインジケータ All Devices are OFFLINE

コントローラファイルに登録されている機器がオンラインになっているかどうかを表示します。

アイコン緑：コントローラファイルに登録されているすべての機器がオンラインになっています。

アイコン黄：コントローラファイルに登録されている一部の機器がオンラインになっています。

アイコン赤：コントローラファイルに登録されている機器が発見できているのにオンラインになっていません。

アイコン灰：オンラインの機器がありません。

- ProVisionaire Control



- ProVisionaire Control KIOSK



- ⑥ [Setup] ボタン 

ネットワークインターフェースを選択したり、セキュリティ設定をする「Setup」ダイアログを開きます。

- ⑦ [Fullscreen] ボタン 

KIOSKの表示をフルスクリーンにします。フルスクリーンを解除するときは、<Esc>キーを押してください。

# メニューバー

ProVisionaire Controlで実行できるコマンドが、カテゴリーごとにまとめられています。  
イニシャルモードでは一部のコマンドだけが表示されます。

File Controller Edit View Arrange Setup About

## [File]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 [New Project Wizard] ダイアログの[Don't show this dialog again when creating new project]チェックボックスにチェックを入れている場合、[New Project Wizard] ダイアログは表示されず、[Controllers] エリアや [Devices] エリアが空の状態で作成されます。	[New Project Wizard] ダイアログ、または [Setup] ダイアログ
[Open Project File]	既存のプロジェクトファイルを開きます。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	[Open File] ダイアログ
[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。 最初に保存するときは [Save File] ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。	—
[Save As]	プロジェクトファイルを別のファイルとして保存します。	[Save File] ダイアログ
[Close Project]	プロジェクトファイルを閉じます。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	イニシャルモード
[Exit]	ProVisionaire Controlを終了します。 プロジェクトファイルを編集中の場合は、確認のメッセージが表示されます。	—

## [Controller]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。	[Add Controller] ダイアログ
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。	[ProVisionaire Control KIOSK]
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。	[Export Controller File] ダイアログ

## [Edit]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。	—
[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。	—
[Cut]	選択されている物をコピーバッファーに移動します。	—
[Copy]	選択されている物をコピーバッファーにコピーします。	—
[Paste]	コピーバッファーにある物を貼り付けます。	—
[Copy Style]	選択されているウィジェットのPropertiesの情報をコピーバッファーにコピーします。	—
[Paste Style]	選択されているウィジェットにコピーバッファーにあるPropertiesの情報を貼り付けます。	—
[Duplicate]	選択されているウィジェットを複製します。	—
[Delete]	選択されているウィジェットを削除します。	—

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Select All]	ページ内にあるすべてのウィジェットを選択します。	—
[Imported Images]	プロジェクトファイル内にある画像データを表示/削除します。	[Imported Images] ダイアログ

## [View]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Devices]	チェックを入れると、該当するエリアが表示されます。	—
[Widgets]		—
[Controllers]		—
[Properties]		—
[Tool Bar]		—
[Dock All]	すべてのエリアのフロート化を解除します。	—

## [Arrange]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせませます。	—
[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせませます。	—
[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせませます。	—

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせませます。	—
[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせませます。	—
[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせませます。	—
[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。	—
[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。	—
[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。	—
[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。	—
[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。	—
[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。	—

## [Setup]

コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[Network]	機器と通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカードを選択します。	[Setup] ダイアログ
[Security]	セキュリティに関する設定をします。	
[Others]	ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。	

## [About]





コマンド	概要	呼び出されるダイアログ
[About ProVisionaire Control]	ProVisionaire Controlのバージョンなどの詳細情報を表示します。	「About」 ダイアログ

## ツールバー

[Open Project File]や[Save]などProVisionaire Controlのプロジェクト単位でよく使うコマンドをボタンにしています。

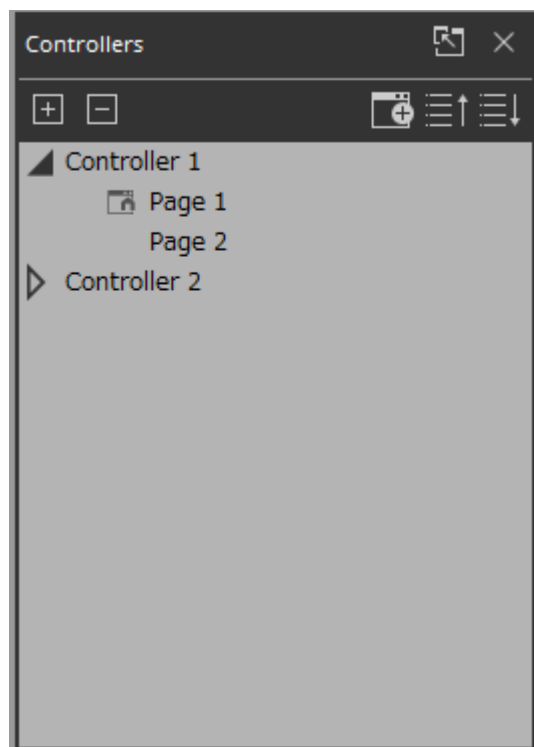
イニシャルモードでは[New Project]ボタンと[Open Project File]の二つが表示されます。


ボタン	コマンド	概要
	[New Project Wizard]	新規のプロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルを編集中的場合は、確認のメッセージが表示されます。 [New Project Wizard] ダイアログの [Don't show this dialog again when creating new project] チェックボックスにチェックを入れていても、[New Project Wizard] ダイアログが開きます。
	[New Project]	新規のプロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルを編集中的場合は、確認のメッセージが表示されます。 [New Project Wizard] ダイアログの [Don't show this dialog again when creating new project] チェックボックスにチェックを入れている場合、[New Project Wizard] ダイアログは表示されず、[Controllers] エリアや [Devices] エリアが空の状態で作成されます。


ボタン	コマンド	概要
	[Open Project File] / [Open Controller File]	既存のプロジェクトファイルまたはコントローラーファイルを開きます。プロジェクトファイルを編集中的場合は、確認のメッセージが表示されます。
	[Save]	プロジェクトファイルを上書き保存します。最初に保存するときは [Save File] ダイアログが開きますので、ファイルに名前を付けて保存します。
	[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。
	[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。

# 「Controllers」 エリア

プロジェクトのコントローラーとページのリストを表示するエリアです。選択されているページをワークエリアに表示します。








コントローラーの左側にある三角形  をクリックすることで、コントローラー個別にページの展開/折りたたみができます。

ページの左側にある  はそのコントローラーでのホームページであることを意味します。

## ■ ボタン

「Controllers」 エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	コントローラーとページを全展開します。
	[Collapse All]	コントローラーとページをすべて折りたたみます。
	[Add]	コントローラーを追加します。追加されたコントローラーにはページが一つ追加されます。
	[Move Page Up]	選択されているページ位置を1つ上に移動させます。
	[Move Page Down]	選択されているページ位置を1つ下に移動させます。

## ■ コンテキストメニュー

コントローラーやページなどを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。選択しているアイテムによって表示されないメニューがあります。

メニュー	概要
[Add Page]	選択されているコントローラーにページを追加します。ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーにページを追加します。
[Duplicate]	選択しているコントローラーまたはページの複製を追加します。ページが選択されている場合は、そのページを含むコントローラーに複製を追加します。
[Delete]	選択しているコントローラーまたはページを削除します。
[Rename]	選択しているコントローラーまたはページの名称を変更できるようにします。
[Run]	選択しているコントローラーをコントロールモードで動作させます。
[Export]	選択しているコントローラーのコントローラーファイルを作成します。
[Set as HOME]	選択しているページをそのコントローラーのホームページにします。

## ■ プロパティ

コントローラーやページにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

### ● コントローラー

Property	Value
[Name]	コントローラーの名称です。クリックすると編集できます。
[Comment]	コントローラーのコメントです。コントローラー名だけでは説明しきれない内容などを記入してください。
[Display Aspect Ratio]	「New Project Wizard」ダイアログまたは「Add Controller」ダイアログで設定した画面比です。KIOSKがインストールされる施工先のコンピュータの画面比であることを確認できます。この項目は変更できないので、間違っている場合は、コントローラーを作り直してください。
[Display Size]	「New Project Wizard」ダイアログまたは「Add Controller」ダイアログで設定した画面サイズです。クリックするとスピンボックスが表示され、クリック操作または直接入力編集できます。画面サイズを変えると、ポイント単位では変わりませんが、cmやinch単位ではウィジェットの大きさが変わります。変更した場合は、ウィジェットの大きさも変更してください。
[Open with Full Screen Style]	コントローラーファイルを開くまたはコントロールモードにしたときに、全画面表示で動作させる(Yes)か、ウィンドウとして動作させる(No)か選択します。

Property	Value
<b>[Pass Code Setting]</b>	コントローラーのパスコードを「Setup」ダイアログで設定したコードと一致させる (Use Project Pass Code)か、コントローラー独自のコードを設定する (Use Controller Pass Code)か選択します。 [Use Controller Pass Code]にすると、下の3つのコードが編集可能になります。
<b>[Administrator Code]</b>	[Pass Code Setting]で[Use Controller Pass Code]を選択すると、編集できるようになります。 クリックすると「Edit Pass Code」ダイアログが開いて、パスコードを編集できます。
<b>[Power User Code]</b>	
<b>[Unlock Code]</b>	
<b>[Show Widget Selection Border]</b>	コントローラーファイルを開くまたはコントロールモードにしたときに、ウィジェットが選択されている枠を表示する (Yes)か、表示しない (No)か選択します。

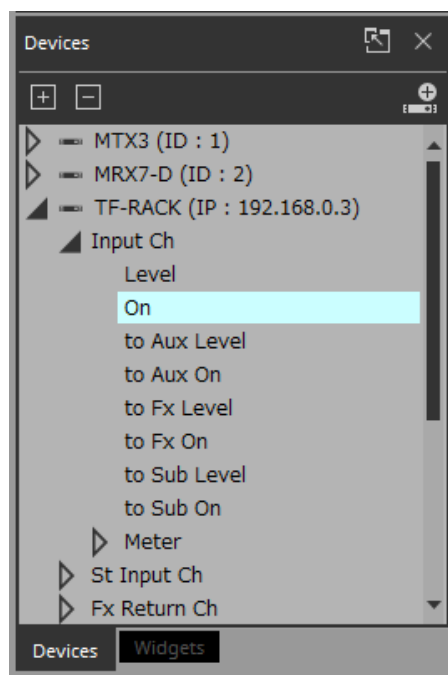
## ● ページ


Property	Value
<b>[Name]</b>	ページの名称です。クリックすると編集できます。
<b>[Comment]</b>	ページのコメントです。クリックすると「Edit Text」ダイアログが開いて、コメントの編集ができます。


Property	Value
<b>[Background Color]</b>	ページの背景色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、背景色を選択できます。
<b>[Background Image]</b>	ページの背景画です。四角をクリックすると、「Select Image」ダイアログが開いて、背景色より上に表示する画像データを選択できます。ゴミ箱ボタンをクリックすると背景画の設定を解除します。
<b>[Image Expansion Mode]</b>	背景画の見せ方を設定します。設定については <a href="#">「Expansion Modeについて」</a> を参照してください。
<b>[HOME Page]</b>	選択しているページがホームページ (Yes)なのか、ホームページではない (No)なのか表示します。
<b>[Snap to Grid]</b>	グリッドに合わせてウィジェットを配置する (Yes)か、自由に配置する (No)か選択します。
<b>[Dot Color]</b>	グリッドのドットの色です。四角をクリックすると、「Select Color」ダイアログが開いて、ドットの色を選択できます。
<b>[Cell Width]</b>	グリッドの間隔です。クリックするとスピンボックスが表示され、クリック操作または直接入力編集できます。

# 「Devices」 エリア

プロジェクトに登録されている機器とその機器のパラメータを表示するエリアです。パラメータをワークエリアにドラッグ&ドロップすることでワークエリアにウィジェットを配置します。入力チャンネルの[On]など複数ある場合は、ドロップしたときにどれを当てはめるか確認するダイアログが表示されます。ダイアログでは<Ctrl>キーや<Shift>キーを使うことで複数選択もできます。



機器やパラメータの左側にある三角形  をクリックすることで、機器やパラメータを個別に展開/折りたたみができます。

下にあるタブで「Devices」エリアを表示するか、「Widgets」エリアを表示するか切り替えられます。また  をクリックすることでエリアがフロートして、タブが消えます。

登録されていない機器を検出した場合は、その機器の左側に「？」が表示されます。

## ■ ボタン

「Devices」エリアにあるボタンの説明をします。

ボタン	コマンド	概要
	[Expand All]	機器とパラメータを全展開します。
	[Collapse All]	機器とパラメータをすべて折りたたみます。
	[Add Device]	プロジェクトに機器を追加します。

## ■ コンテキストメニュー

機器を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

メニュー	概要
[Add]	プロジェクトに登録されていない機器を検出した場合、該当機器に登録します。
[Delete]	機器を削除します。

## ■ プロパティ

機器やパラメーターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

Property	Value
[Model]	機器のモデル名を表示します。
[Identifier]	機器のUNIT IDやIPアドレスを表示します。クリックすると「Edit Device Identifier」ダイアログが開いて、UNIT IDやIPアドレスを編集できます。対象機器のウィジェットが既に配置されている場合、変更に合わせてウィジェットのUNIT IDやIPアドレスが変わります。

## 「Widgets」 エリア

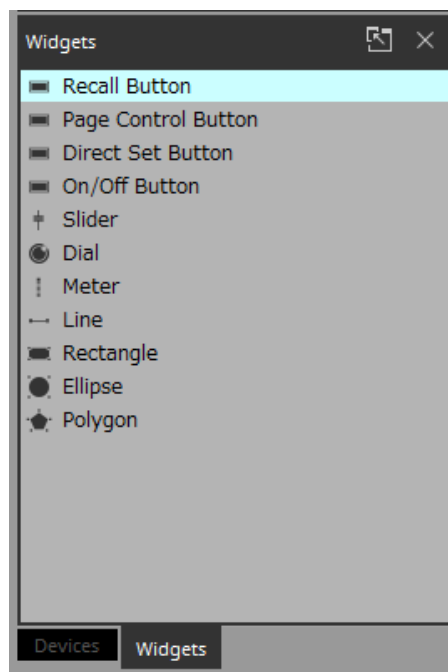
ワークエリアに配置できるウィジェットを表示するエリアです。ウィジェットをワークエリアにドラッグ&ドロップすることでワークエリアにウィジェットを配置します。

On/Off ボタンやスライダーなどはパラメーターをドラッグ&ドロップでウィジェットが配置できますが、Page Control ボタンやRectangleなどはこのエリアからドラッグ&ドロップしてください。

ワークエリアに配置されたウィジェットには、パラメーターをドラッグ&ドロップすることでパラメーターを設定できます。同様の操作で上書きもできます。

各ウィジェットの詳細については「[ウィジェット](#)」の章を参照してください。

このエリアではボタンやコンテキストメニュー、プロパティに関する項目はありません。



# ワークエリア

現在選択しているページが表示されます。  
このエリアにパラメーターやウィジェットを(MRX DesignerやMTX-MRX Editorからの場合は<Ctrl>キーを押しながら)ドラッグ&ドロップしてウィジェットを配置します。



既に配置されているウィジェットにパラメーターを(MRX DesignerやMTX-MRX Editorからの場合は<Ctrl>キーを押しながら)ドラッグ&ドロップすると、ウィジェットのパラメーターが上書きされます。

ワークエリアのウィジェット以外の部分をクリックすると、「Properties」エリアにページのプロパティーが表示されます。


ワークエリアのウィジェット以外の部分を右クリックしてもコンテキストメニューは表示されません。

## ■ ボタン

ワークエリアの上部にはワークエリア操作でよく使うコマンドをボタンにしています。

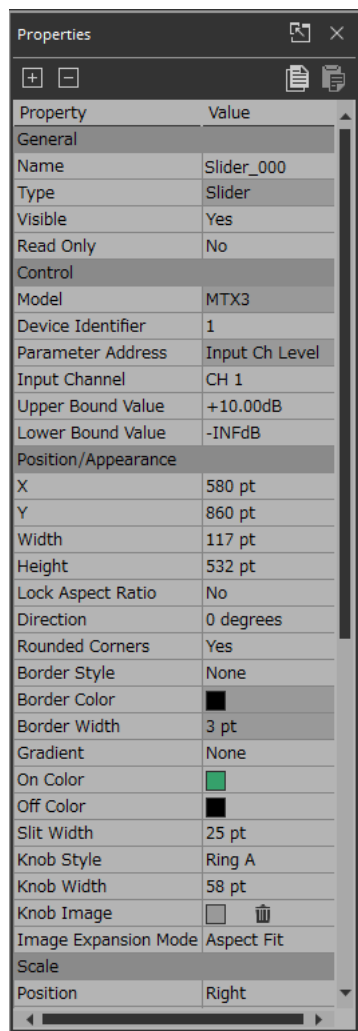
ボタン	コマンド	概要
	[Undo]	ウィジェットに関する前の操作を取り消します。いくつかの項目は取り消せません。
	[Redo]	[Undo]で取り消した操作を再実行します。
	[Cut]	選択されている物をコピーバッファに移動します。
	[Copy]	選択されている物をコピーバッファにコピーします。
	[Paste]	コピーバッファにある物を貼り付けます。

ボタン	コマンド	概要
	[Align Left]	複数選択しているウィジェットのうち一番左側にあるウィジェットに左端をあわせます。
	[Align Right]	複数選択しているウィジェットのうち一番右側にあるウィジェットに右端をあわせます。
	[Align Top]	複数選択しているウィジェットのうち一番上側にあるウィジェットに上端をあわせます。
	[Align Bottom]	複数選択しているウィジェットのうち一番下側にあるウィジェットに下端をあわせます。
	[Align Horizontal Center]	複数選択しているウィジェットの水平方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。
	[Align Vertical Center]	複数選択しているウィジェットの垂直方向の中間にウィジェットの中央をあわせます。
	[Distribute Horizontally]	複数選択しているウィジェットの水平方向を等間隔にします。
	[Distribute Vertically]	複数選択しているウィジェットの垂直方向を等間隔にします。
	[Bring to Front]	選択しているウィジェットを最前面に移動します。

ボタン	コマンド	概要
	[Bring Forward]	選択しているウィジェットを前面に移動します。
	[Send Backward]	選択しているウィジェットを背面に移動します。
	[Send to Back]	選択しているウィジェットを最背面に移動します。
	[Zoom In]	ワークエリアの表示を拡大します。
	[Zoom Origin]	ワークエリアの表示を100%にします。
	[Zoom Out]	ワークエリアの表示を縮小します。
	[Fit to Screen]	ワークエリアにページ全体を表示します。

# 「Properties」 エリア

ページやウィジェットなどのプロパティを表示します。  
「Value」欄に網掛けのない部分に関しては編集できます。  
個別の項目を展開または折りたたむ場合は、プロパティの  
全般部分をダブルクリックしてください。



## ■ ボタン

「Properties」 エリアの上部にはプロパティ操作でよく使う  
コマンドをボタンにしています。

ボタン	コマンド	概要
	<b>[Expand All]</b>	プロパティの項目を全展開します。
	<b>[Collapse All]</b>	プロパティの項目をすべて折りたたみます。
	<b>[Copy Style]</b>	選択されているウィジェットの Properties の情報をコピーバッファにコピーします。
	<b>[Paste Style]</b>	選択されているウィジェットにコピーバッファにある Properties の情報を貼り付けます。

# ウィジェット

ここでは各ウィジェットをカテゴリー別に説明します。  
テキストを設定しようとするとき「Edit Text」ダイアログが表示されます。  
色を設定しようとするとき「Select Color」ダイアログが表示されます。  
イメージを設定しようとするとき「Select Image」ダイアログが表示されます。  
[Image]系のValue欄にあるゴミ箱ボタンをクリックすると、該当イメージの表示を解除しますが、プロジェクトファイル内には残っています。ファイル内から削除する場合は、「Imported Images」ダイアログを使って削除してください。  
[Control]系と[Image](On Imageなども含む)はUndo/Redoの対象外です。

## ■ ボタン

ボタンのウィジェットとして以下の物があります。

ウィジェット名	概要
[Recall Button]	シーンやプリセットのリコールに使用します。
[Page Control Button]	他のページに移行するために使用します。
[Direct Set Button]	パラメーターをある固定値にします。
[On/Off Button]	オン/オフを切り替えます。

## ● ボタンのプロパティ

ボタンが選択された場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。ボタンや設定によって表示されないパラメーターもあります。  
Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
[Read Only]	操作できるかできないかを選択します。[Yes]を選択するとインジケータのように機能します。
<b>[Control]</b>	<b>制御対象に関する情報全般</b>
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。

Property	Value
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Confirmation]	クリックしたときに確認画面を表示するかどうかを選択します。
[Confirmation Text]	[Confirmation]を[Yes]に設定したとき、表示する確認画面のメッセージです。
[On Value]	オンにしたときの値です。
[Off Value]	オフにしたときの値です。
[Switching Mode]	ボタンをラッチ型にするかアンラッチ型にするか選択します。
[Page Control Action]	クリックしたときのアクションを選択します。
[Page Name]	クリックしたときに移動するページ名です。
[Press Value]	クリックしたときに設定する値を設定します。

Property	Value
[Indicator Mode]	ボタンの色の変更条件を選択します。 [Press]では常に[On Color]の色となり、[Stateful]では[Press Value]の値と一致しているときに[On Color]になります。
[Preset No]/ [Scene No]/ [Scene A No]/ [Scene B No]	リコールするシーンやプリセット、スナップショットの番号を選択します。
[Appearance]	ウィジェットの見え方全般
[X]	ウィジェットの左上を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
[Y]	ウィジェットの左上を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの高さを設定します。
[Lock Aspect Ratio]	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Shape]	ウィジェットの形状を選択します。
[Corner]	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。

Property	Value
[Border Color]	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Color]	ウィジェット内部の色を設定します。
[Image]	ウィジェット内部の画像を設定します。
[Image Expansion Mode]	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
[On Color]	ステータスがオンの時のウィジェット内部の色を設定します。
[On Image]	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像を設定します。
[On Image Expansion Mode]	ステータスがオンの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Off Color]	ステータスがオフの時のウィジェット内部の色を設定します。
[Off Image]	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像を設定します。

Property	Value
[Off Image Expansion Mode]	ステータスがオフの時のウィジェット内部の画像の見え方を設定します。
[Text]	<b>ウィジェット内のテキスト全般</b>
[Visible]	ウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Text]	ウィジェット内部のテキストを設定します。
[Color]	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Font]	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。
[Vertical Alignment]	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。
[On Visible]	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[On Text]	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストを設定します。
[On Color]	ステータスがオンの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。

Property	Value
[Off Visible]	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Off Text]	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストを設定します。
[Off Color]	ステータスがオフの時のウィジェット内部のテキストの色を設定します。
<b>[Label]</b>	<b>ウィジェットのラベル全般</b>
[Visible]	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]	ラベルの色を設定します。
[Font]	ラベルのフォントを設定します。
[Position]	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]	ラベルの位置を選択します。
[Margin]	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

## ■ スライダー

スライダーのウィジェットは1種類のみです。

### ● スライダーのプロパティ

スライダーにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
<b>[Name]</b>	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
<b>[Type]</b>	ウィジェットの種類です。
<b>[Visible]</b>	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
<b>[Read Only]</b>	操作できるかできないかを選択します。[Yes]を選択するとインジケータのように機能します。
<b>[Control]</b>	<b>制御対象に関する情報全般</b>
<b>[Model]</b>	機器のモデル名です。
<b>[Device Identifier]</b>	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。

Property	Value
<b>[Parameter Address]</b>	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
<b>[Input Channel] など</b>	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
<b>[Upper Bound Value]</b>	ウィジェットの最大値を設定します。
<b>[Lower Bound Value]</b>	ウィジェットの最小値を設定します。
<b>[Appearance]</b>	<b>ウィジェットの見え方全般</b>
<b>[X]</b>	ウィジェットの左上を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
<b>[Y]</b>	ウィジェットの左上を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
<b>[Width]</b>	ウィジェットの幅を設定します。
<b>[Height]</b>	ウィジェットの丈を設定します。
<b>[Lock Aspect Ratio]</b>	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
<b>[Direction]</b>	ウィジェットの向きを選択します。
<b>[Rounded Corners]</b>	スリットの角を丸めるかどうか選択します。
<b>[Border Style]</b>	スリットに縁取りするかどうか選択します。
<b>[Border Color]</b>	スリットの縁取りの色を設定します。

Property	Value
[Border Width]	スリットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]	スリット内部のグラデーションの種類を選択します。
[On Color]	現在値以下のスリット内部の色を設定します。
[Off Color]	現在値より上のスリット内部の色を設定します。
[Slit Width]	スリットの幅を設定します。
[Knob Style]	ノブの形状を選択します。
[Knob Width]	ノブの幅を設定します。
[Knob Image]	ノブの画像を設定します。
[Image Expansion Mode]	ノブの画像の見え方を設定します。
<b>[Scale]</b>	<b>目盛り全般</b>
[Position]	目盛りの位置を選択します。
[Width]	目盛りの太さを設定します。
[Color]	目盛りの色を設定します。
[Value Visible]	目盛りに数字を表示するかどうかを選択します。
[Font]	目盛りの数字のフォントを選択します。
[Font Color]	目盛りの数字の色を選択します。

Property	Value
<b>[Label]</b>	<b>ウィジェットのラベル全般</b>
[Visible]	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]	ラベルの色を設定します。
[Font]	ラベルのフォントを設定します。
[Position]	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]	ラベルの位置を選択します。
[Margin]	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。
<b>[Value Label]</b>	<b>ウィジェットの現在値表示全般</b>
[Visible]	現在値を表示するかどうか選択します。
[Font Color]	現在値の色を設定します。
[Font]	現在値のフォントを設定します。
[Position]	現在値の場所を選択します。
[Alignment]	現在値の位置を選択します。
[Margin]	現在値をウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

## ■ ダイアル

ダイアルのウィジェットは1種類のみです。

### ● ダイアルのプロパティ

ダイアルにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
<b>[Name]</b>	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
<b>[Type]</b>	ウィジェットの種類です。
<b>[Visible]</b>	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
<b>[Read Only]</b>	操作できるかできないかを選択します。[Yes]を選択するとインジケータのように機能します。
<b>[Control]</b>	<b>制御対象に関する情報全般</b>
<b>[Model]</b>	機器のモデル名です。
<b>[Device Identifier]</b>	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。

Property	Value
<b>[Parameter Address]</b>	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。
<b>[Input Channel] など</b>	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
<b>[Upper Bound Value]</b>	ウィジェットの最大値を設定します。
<b>[Lower Bound Value]</b>	ウィジェットの最小値を設定します。
<b>[Band Base Value]</b>	ウィジェットを配置したときに設定する初期値を設定します。
<b>[Appearance]</b>	<b>ウィジェットの見え方全般</b>
<b>[X]</b>	ウィジェットの左上を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
<b>[Y]</b>	ウィジェットの左上を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
<b>[Width]</b>	ウィジェットの幅を設定します。
<b>[Height]</b>	ウィジェットの丈を設定します。
<b>[Border Style]</b>	ウィジェットに縁取りするかどうか選択します。
<b>[Border Color]</b>	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
<b>[Border Width]</b>	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。

Property	Value
[Dial Type]	ダイヤルの形状を選択します。
[Start Angle]	値の開始位置をどこにするのか設定します。
[End Angle]	値の終了位置をどこにするのか設定します。
[Gradient]	ノブ内部のグラデーションの種類を選択します。
[Knob Color]	ノブ内部の色を設定します。
[Grip Shape]	グリップの形状を選択します。
[Grip Size]	グリップの大きさを設定します。
[Grip Color]	グリップの色を設定します。
[Band On Color]	現在値以下のバンド内部の色を設定します。
[Band Off Color]	現在値より上のバンド内部の色を設定します。
<b>[Label]</b>	<b>ウィジェットのラベル全般</b>
[Visible]	ラベルを表示するかどうか選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]	ラベルの色を設定します。
[Font]	ラベルのフォントを設定します。
[Position]	ラベルの場所を選択します。

Property	Value
[Alignment]	ラベルの位置を選択します。
[Margin]	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。
<b>[Value Label]</b>	<b>ウィジェットの現在値表示全般</b>
[Visible]	現在値を表示するかどうか選択します。
[Font Color]	現在値の色を設定します。
[Font]	現在値のフォントを設定します。
[Position]	現在値の場所を選択します。
[Alignment]	現在値の位置を選択します。
[Margin]	現在値をウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

## ■ メーター

メーターのウィジェットは1種類のみです。

### ● メーターのプロパティ

メーターにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
<b>[Control]</b>	<b>制御対象に関する情報全般</b>
[Model]	機器のモデル名です。
[Device Identifier]	機器の識別子です。UNIT IDまたはIPアドレスが表示されます。
[Parameter Address]	ウィジェットに設定されたパラメーター名です。

Property	Value
[Input Channel] など	パラメーターのチャンネル番号などです。アサインされたパラメーターによって名称が変わります。
[Meter Type]	メーターの表示方法を選択します。
[Bar Base Point]	バーの塗りつぶし開始位置を選択します。
<b>[Appearance]</b>	<b>ウィジェットの見え方全般</b>
[X]	ウィジェットの左上を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
[Y]	ウィジェットの左上を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。
[Lock Aspect Ratio]	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。
[Direction]	ウィジェットの向きを選択します。
[Rounded Corners]	バーの角を丸めるかどうかを選択します。
[Border Style]	バーに縁取りするかどうかを選択します。
[Border Color]	バーの縁取りの色を設定します。
[Border Width]	バーの縁取りの幅を設定します。

Property	Value
[Gradient]	バー内部のグラデーションの種類を選択します。
[On Color]	現在値以下のバー内部の色を設定します。 [Meter Type]が[Bar]の場合は、現在値の色となります。
[Off Color]	現在値より上のバー内部の色を設定します。 [Meter Type]が[Bar]の場合は、現在値以外の色となります。
[Bar Width]	バーの幅を設定します。
<b>[Scale]</b>	<b>目盛り全般</b>
[Position]	目盛りの位置を選択します。
[Width]	目盛りの太さを設定します。
[Color]	目盛りの色を設定します。
[Value Visible]	目盛りに数字を表示するかどうかを選択します。
[Font]	目盛りの数字のフォントを選択します。
[Font Color]	目盛りの数字の色を選択します。

Property	Value
<b>[Label]</b>	<b>ウィジェットのラベル全般</b>
[Visible]	ラベルを表示するかどうかを選択します。
[Text]	ラベルを設定します。
[Font Color]	ラベルの色を設定します。
[Font]	ラベルのフォントを設定します。
[Position]	ラベルの場所を選択します。
[Alignment]	ラベルの位置を選択します。
[Margin]	ラベルをウィジェットからどれだけ離すかを設定します。

## ■ ライン

ラインのウィジェットは1種類のみです。

### ● ラインのプロパティ

ラインにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
[Color]	ウィジェットの色を選択します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
[Name]	ウィジェットの名称です。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
<b>[Appearance]</b>	<b>ウィジェットの見え方全般</b>
[X]	ラインを引き始めた点を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
[Y]	ラインを引き始めた点を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
[Argument]	ウィジェットを配置したときの下端を基準にして、ウィジェットの角度を表示します。
[Moving Radius]	ウィジェットの長さを表示します。
[Style]	ウィジェットの形状を選択します。

## ■ シェイプ

タイトル、コメントなどを配置するのに便利なウィジェットです。テキストの他にロゴなどのイメージを貼り付けることもできます。シェイプのウィジェットとして以下の物があります。

ウィジェット名	概要
[Rectangle]	四角形
[Ellipse]	円形
[Polygon]	多角形

多角形はウィジェットを右クリックすることで角数の変更や形状の変更ができるようになります。角数を増やす場合は増やしたいところを右クリックしてください。角数を減らす場合は減らす頂点を右クリックしてください。

## ● シェイプのプロパティ

シェイプにフォーカスがある場合に「Properties」エリアに表示されるパラメーターを説明します。シェイプや設定によって表示されないパラメーターもあります。

Value欄が濃い網掛けの部分は編集できません。

Property	Value
<b>[General]</b>	<b>ウィジェット全般</b>
[Name]	ウィジェットの名称です。ウィジェットを先に配置して、あとでパラメーターをアサインする場合にどれをアサインするつもりなのか記入しておくことができます。
[Type]	ウィジェットの種類です。
[Visible]	コントロールモードのときにウィジェットを表示するかしないかを選択します。
<b>[Appearance]</b>	<b>ウィジェットの見え方全般</b>
[X]	ウィジェットの左上を画面の左上から横方向にどれだけ離すか設定します。
[Y]	ウィジェットの左上を画面の左上から縦方向にどれだけ離すか設定します。
[Width]	ウィジェットの幅を設定します。
[Height]	ウィジェットの丈を設定します。
[Lock Aspect Ratio]	ウィジェットの縦横比を固定するかどうかを選択します。

Property	Value
[Corner]	ウィジェットの角の丸みを設定します。
[Border Style]	ウィジェットの縁取りの種類を選択します。
[Border Color]	ウィジェットの縁取りの色を設定します。
[Border Width]	ウィジェットの縁取りの幅を設定します。
[Gradient]	ウィジェット内部のグラデーションの種類を選択します。
[Color]	ウィジェット内部の色を設定します。
[Image]	ウィジェット内部の画像を設定します。
[Image Expansion Mode]	ウィジェット内部の画像の見え方を選択します。
[Text]	<b>ウィジェット内のテキスト全般</b>
[Visible]	ウィジェット内部のテキストを表示するかどうかを選択します。
[Text]	ウィジェット内部のテキストを設定します。
[Color]	ウィジェット内部のテキストの色を設定します。
[Font]	ウィジェット内部のテキストのフォントを設定します。

Property	Value
[Vertical Alignment]	ウィジェット内部のテキストの垂直位置を選択します。
[Horizontal Alignment]	ウィジェット内部のテキストの水平位置を選択します。

# ダイアログ

ここではダイアログについて説明します。

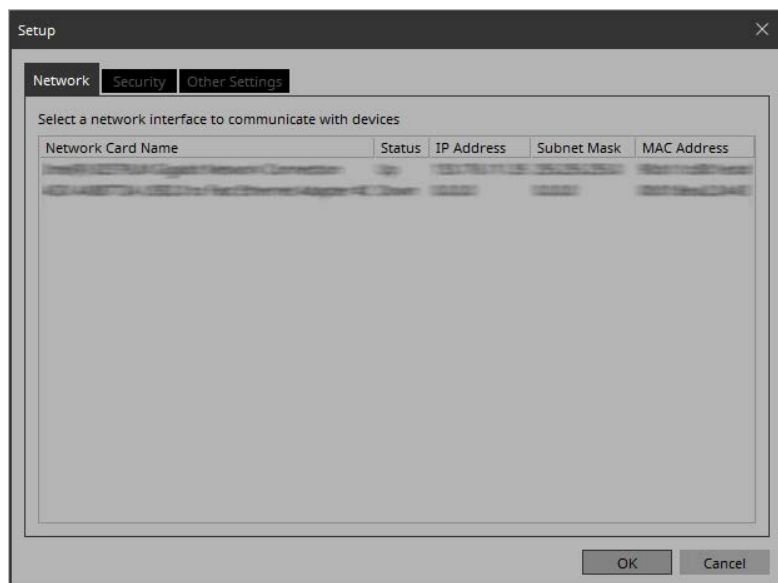
## ■ 「Setup」 ダイアログ

プロジェクトやコントローラー全体に関わる設定をするダイアログです。

ProVisionaire ControlとProVisionaire Control KIOSKでは表示内容が違います。ここではProVisionaire Controlのダイアログで説明します。

### 【Network】タブ

機器と通信するためのコンピューターのネットワークインターフェースカード(以下「ネットワークカード」と呼びます)を選択します。

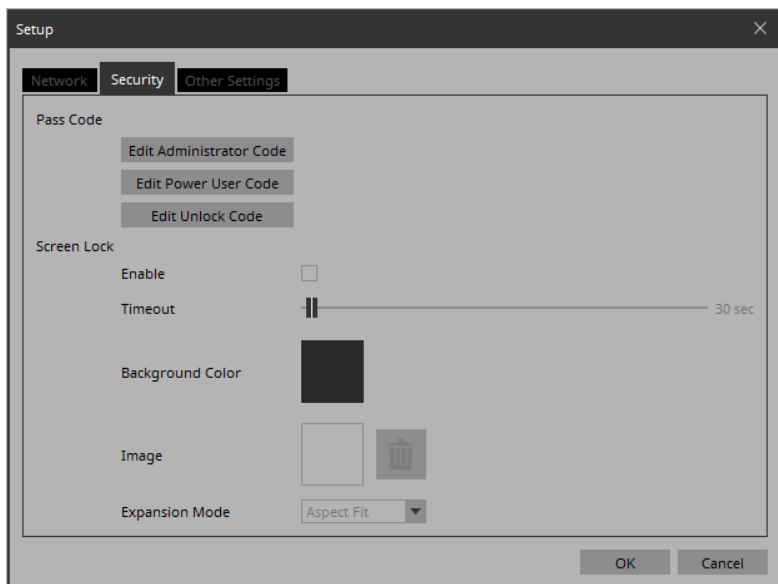


ネットワークに接続されていない場合は、[Cancel]ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

- **Network Card Name**  
ネットワークカードの名前が表示されます。
- **Status**  
ネットワークカードの状態(UpまたはDown)が表示されます。  
「Down」と表示されているネットワークカードは選択できません。
- **IP AddressおよびSubnet Mask**  
ネットワークカードに割り当てられているIPアドレスおよびサブネットマスクが表示されます。  
ネットワークカードの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」になっているにもかかわらず、DHCPサーバーがなくIPアドレスが割り振られていない場合は、「0.0.0.0」と表示されます。  
また、ネットワークカードが物理的に結線されていない場合も、同様に「0.0.0.0」と表示されます。
- **MAC Address**  
ネットワークカードのMACアドレスが表示されます。
- **[OK]ボタン**  
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**  
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

## [Security] タブ

セキュリティに関する設定をします。

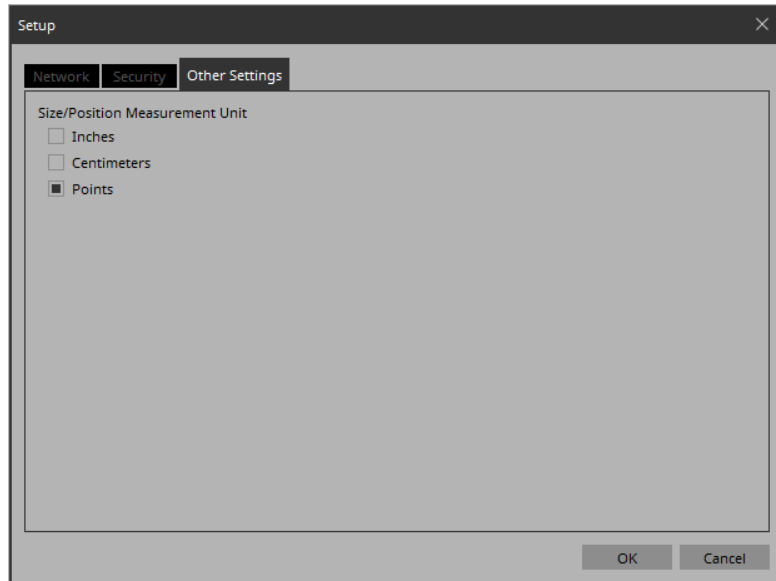


- **Pass Code [Edit Administrator Code]/[Edit Power User Code]/[Edit Unlock Code] ボタン**  
クリックすると、「Edit Pass Code」ダイアログが表示されます。  
初めてパスコードを入力するときは[Enter Current Pass Code]欄は空欄でパスコードを設定してください。
- **Screen Lock [Enable] チェックボックス**  
チェックを入れると、スクリーンロックに関する設定ができます。
- **Screen Lock [Timeout] スライダー**  
スクリーンロックするまでの時間を設定します。

- **Screen Lock [Background Color] ボタン**  
クリックすると、「Select Color」ダイアログが表示されます。イメージを画面いっぱいにならないときの背景色を設定してください。
- **Screen Lock [Image] ボタン**  
クリックすると、「Select Image」ダイアログが表示されます。スクリーンロック時に表示する画像ファイルを選択してください。
- **Screen Lock Image ゴミ箱ボタン**  
Screen Lock [Image] ボタンで設定したイメージを解除します。解除をしても、イメージはプロジェクトファイルに取り込まれたままとなります。
- **Screen Lock [Expansion Mode] リストボックス**  
リストの中から、表示領域へのイメージの配置方法を選択します。選択肢の内容については「[Expansion Mode について](#)」を参照してください。
- **[OK] ボタン**  
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**  
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

## [Other Settings] タブ

ウィジェットのサイズや位置情報の単位を設定します。  
この設定はプロジェクトファイルではなく、コンピューターに保持されます。



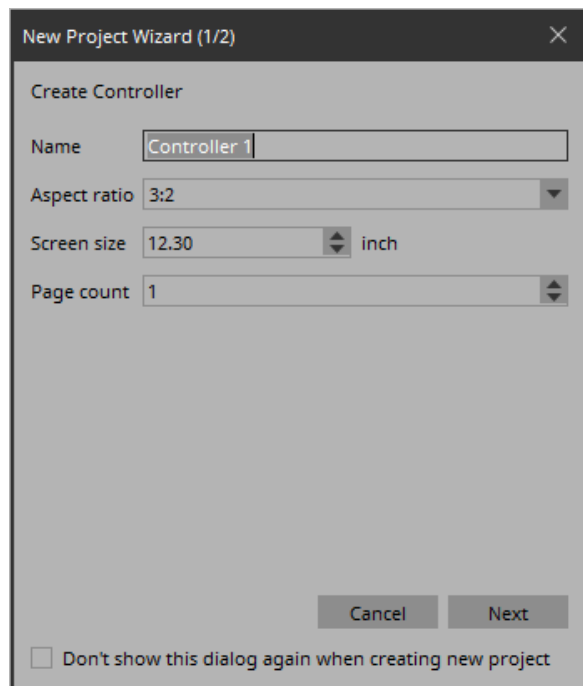
- **[Size/Position Measurement Unit] ラジオボタン**  
ウィジェットのサイズや位置情報の単位を選択します。
- **[OK] ボタン**  
設定を更新し、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**  
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。

## ■ 「New Project Wizard」 ダイアログ

新しくプロジェクトを作成するときのダイアログです。

### 1/2 Create Controller

コントローラーに関する設定をします。

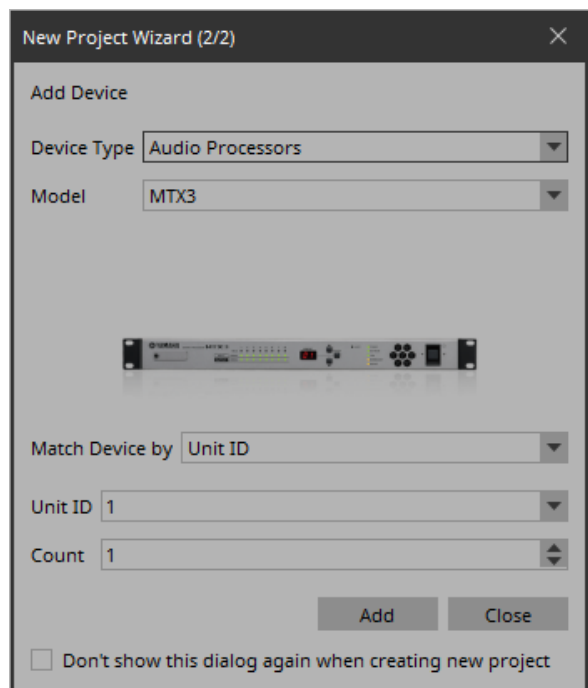


- **[Name]テキストボックス**  
コントローラーの名前を設定します。
- **[Aspect ratio]リストボックス**  
KIOSKが動作する画面の縦横比を選択します。  
この設定はあとで変更ができません。

- **[Screen size]スピンボックス**  
KIOSKが動作する画面の大きさを設定します。
- **[Page count]スピンボックス**  
コントローラーのページ数を設定します。
- **[Cancel]ボタン**  
設定を更新せずに、ダイアログを閉じます。
- **[Next]ボタン**  
機器を設定する2/2に移動します。
- **[Don't show this dialog again when creating new project]チェックボックス**  
チェックを入れると、[New Project]を実行したときに、「New Project Wizard」ダイアログが表示されないようになります。  
チェックを外す場合は[New Project Wizard]を実行して、チェックを外してください。

## 2/2 Add Device

プロジェクトに登録する機器に関する設定をします。



- **[Device Type] リストボックス**  
機器の種類を選択します。
- **[Model] リストボックス**  
機器のモデル名を選択します。
- **[Match Device by] リストボックス**  
機器の識別方法を選択します。  
[Unit ID] を選択すると下に [Unit ID] リストボックスと [Count] スピンボックスが表示されます。

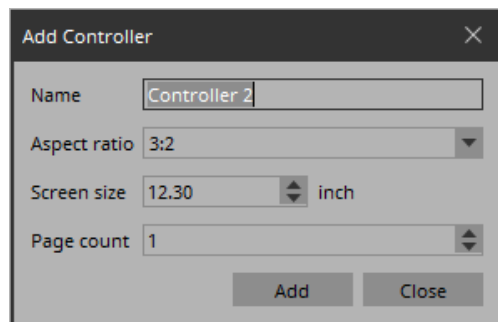
[IP Address] を選択すると下に [IP Address] テキストボックスが表示されます。

KIOSK と異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address] を選択してください。

- **[Unit ID] リストボックス**  
登録する機器の先頭 UNIT ID を選択します。
- **[Count] スピンボックス**  
登録する機器の台数を設定します。
- **[IP Address] テキストボックス**  
登録する機器の IP アドレスを設定します。
- **[Add] ボタン**  
機器を登録して、ダイアログを閉じます。  
他の機器を登録する場合は、「Devices」エリアで [Add Device] を実行してください。
- **[Close] ボタン**  
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。
- **[Don't show this dialog again when creating new project] チェックボックス**  
チェックを入れると、[New Project] を実行したときに、「New Project Wizard」ダイアログが表示されないようになります。  
チェックを外す場合は [New Project Wizard] を実行して、チェックを外してください。

## ■ 「Add Controller」 ダイアログ

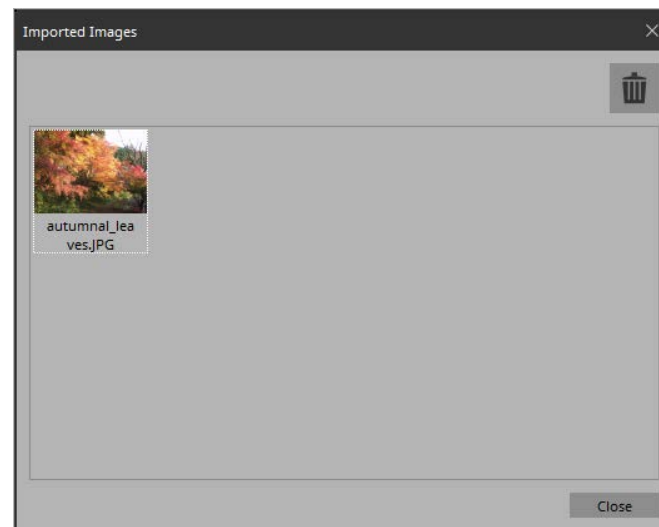
プロジェクトにコントローラーを追加します。



- **[Name]テキストボックス**  
コントローラーの名前を設定します。
- **[Aspect ratio]リストボックス**  
KIOSKが動作する画面の縦横比を選択します。  
この設定はあとで変更ができません。
- **[Screen size]スピンボックス**  
KIOSKが動作する画面の大きさを設定します。
- **[Page count]スピンボックス**  
コントローラーのページ数を設定します。
- **[Add]ボタン**  
コントローラーを追加して、ダイアログを閉じます。
- **[Close]ボタン**  
コントローラーを追加せずに、ダイアログを閉じます。

## ■ 「Imported Images」 ダイアログ

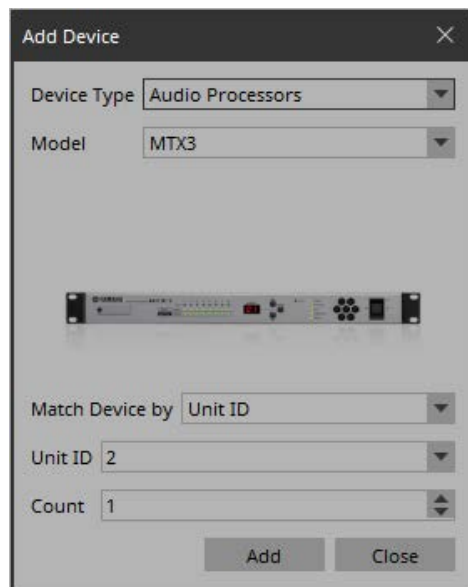
プロジェクトファイル内の画像データの確認と削除をします。



- **イメージタイル**  
プロジェクトファイル内の画像データを表示します。  
データを削除する場合は、削除するファイルをタイル内で選択してください。
- **ゴミ箱ボタン**  
イメージタイルで選択したデータをプロジェクトファイルから削除します。
- **[Close]ボタン**  
ダイアログを閉じます。

## ■ [Add Device] ダイアログ

プロジェクトに機器を追加します。



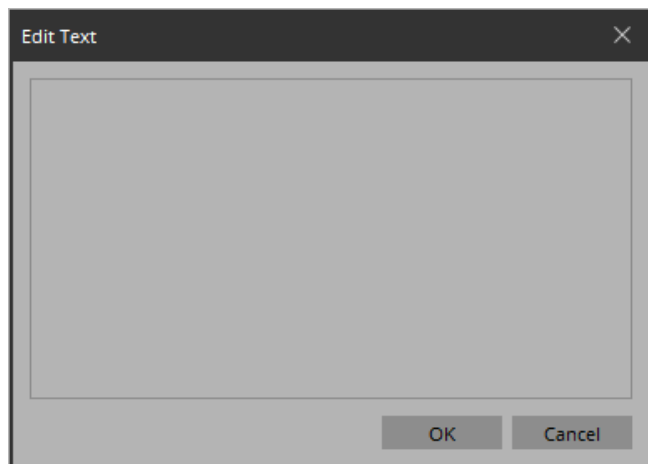
- [Device Type] リストボックス  
機器の種類を選択します。
- [Model] リストボックス  
機器のモデル名を選択します。
- [Match Device by] リストボックス  
機器の識別方法を選択します。  
[Unit ID] を選択すると下に [Unit ID] リストボックスと [Count] スピンボックスが表示されます。  
[IP Address] を選択すると下に [IP Address] テキストボックスが表示されます。

KIOSKと異なるサブネットにある機器を操作する場合は、[IP Address] を選択してください。

- [Unit ID] リストボックス  
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- [Count] スピンボックス  
登録する機器の台数を設定します。
- [IP Address] テキストボックス  
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- [Add] ボタン  
機器を登録して、ダイアログを閉じます。
- [Close] ボタン  
機器を登録せずに、ダイアログを閉じます。

## ■ 「Edit Text」 ダイアログ

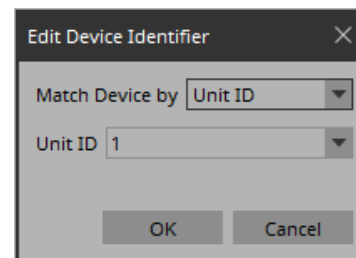
ラベルなどの文字を編集します。



- **テキストボックス**  
文字の入力や編集をします。改行できるものとできないものがあります。
- **[OK] ボタン**  
文字を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**  
文字の入力や編集を反映せずに、ダイアログを閉じます。

## ■ 「Edit Device Identifier」 ダイアログ

機器の識別情報を変更します。



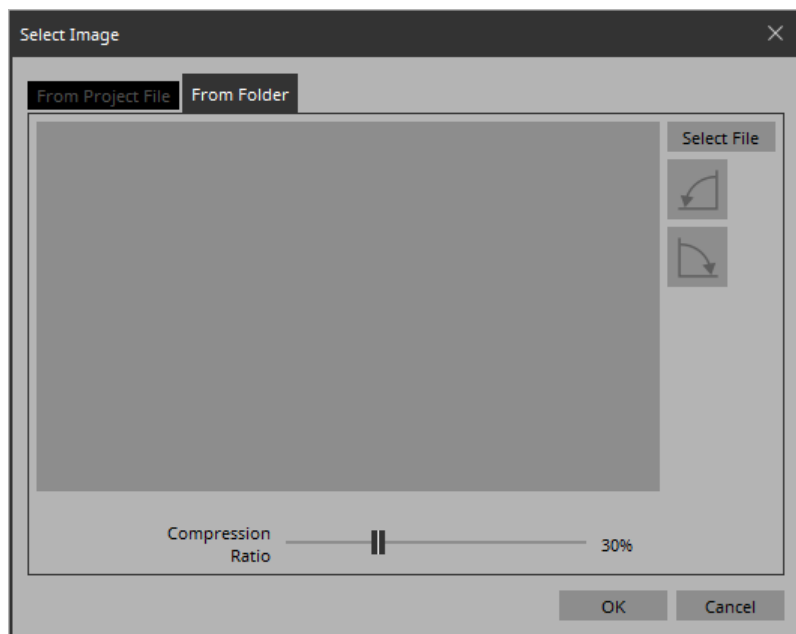
- **[Match Device by] リストボックス**  
機器の識別方法を選択します。  
[Unit ID]を選択すると下に[Unit ID]リストボックスが表示されます。  
[IP Address]を選択すると下に[IP Address]テキストボックスが表示されます。
- **[Unit ID] リストボックス**  
登録する機器の先頭UNIT IDを選択します。
- **[IP Address] テキストボックス**  
登録する機器のIPアドレスを設定します。
- **[OK] ボタン**  
設定を反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel] ボタン**  
設定を反映せずに、ダイアログを閉じます。

## ■ [Select Image] ダイアログ

使用する画像データの選択をします。

### [From Folder] タブ

コンピューターのフォルダーから画像ファイルを選択します。



- [Select File] ボタン

クリックすると、画像ファイルを選択するダイアログが開きます。

- 左回りに回転ボタン

表示されている画像を左回りに90度回転させます。

- 右回りに回転ボタン

表示されている画像を右回りに90度回転させます。

- [Compression Ratio] スライダー

プロジェクトファイル内に画像を取り込む際の圧縮率を設定します。

- [OK] ボタン

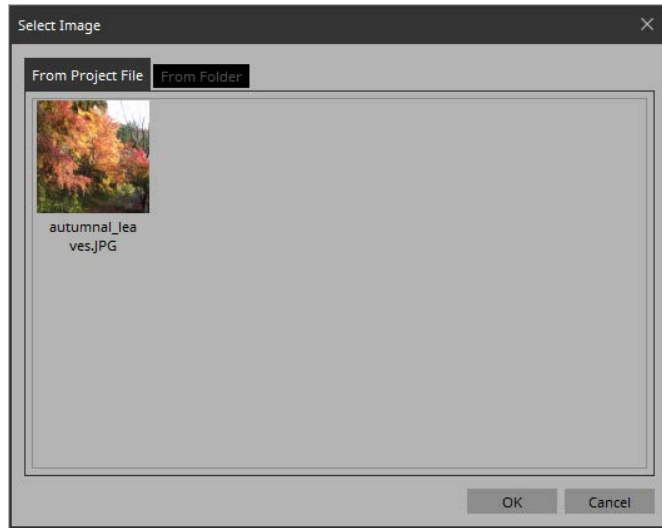
画像を反映して、ダイアログを閉じます。

- [Cancel] ボタン

画像を反映せず、ダイアログを閉じます。

## [From Project File]タブ

プロジェクトファイル内から画像データを選択します。



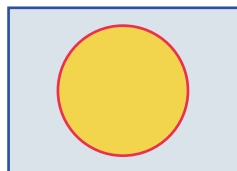
- **イメージタイトル**  
プロジェクトファイル内の画像データを表示します。使用する画像を選択してください。
- **[OK]ボタン**  
選択した画像データを反映して、ダイアログを閉じます。
- **[Cancel]ボタン**  
選択した画像データを反映せずに、ダイアログを閉じます。

## Expansion Modeについて

[Properties] エリアの[Image]の下に[Image Expansion Mode]がある場合や「Setup」ダイアログの[Security]タブに[Expansion Mode]があります。この項目では表示領域へのイメージの配置方法を選択します。

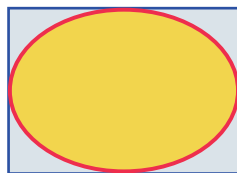
- **None**

拡大縮小せず、領域中央に配置



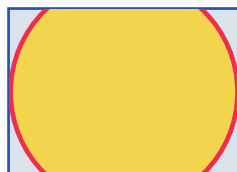
- **Full**

高さ、幅ともに領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



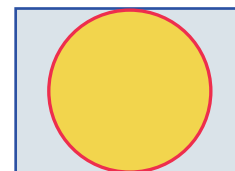
- **Aspect Fill**

高さ、幅のどちらか短い方が領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



- **Aspect Fit**

高さ、幅のどちらか長い方が領域いっぱいにフィットするように拡大縮小して表示



# IPアドレスの設定方法

---

以下の手順でコンピューターのIPアドレスを設定してください。

## 1. 「ネットワーク接続」を開く。

### • Windows 7 / 8.1の場合：

スタートボタンをクリックして表示される検索ボックスにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。

### • Windows 10の場合：

スタートボタン右側の検索ボックスまたはCortanaにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。

## 2. システムに接続するインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択する。

## 3. [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックして、[プロパティ]ボタンをクリックする。

## 4. [次のIPアドレスを使う]ラジオボタンを選択する。

## 5. IPアドレスとサブネットマスクを設定する。

機器のIPアドレスが192.168.0.xの場合、同じサブネットの場合は192.168.0.250などをIPアドレスに設定して、サブネットを255.255.255.0としてください。

異なるアドレスを使う場合は、使用できるIPアドレスとサブネットマスクの値をネットワーク管理者に確認してください。

## 6. [OK]ボタンをクリックする。

[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ] ダイアログが閉じます。

## 7. [OK]ボタンをクリックする。

インターフェースの「プロパティ」ダイアログが閉じます。

**以上で、設定完了です。**

# Tips

---

プロジェクトを作成するときを知っておくと便利なことを紹介します。

**Q:** 同じデザインのウィジェットを複数作るのが面倒。

**A:** 1つウィジェットをデザインしたあと、ウィジェットをコピー & ペーストしてカテゴリーを書き換える、または [Copy Style] をして [Paste Style] したあとにパラメーターをドラッグ&ドロップすることで、同一デザインのウィジェットを複数作れます。

**Q:** ウィジェットの大きさの基準はあるか？

**A:** スライダーのノブやダイアルのグリップの大きさを1cm程度にして、デザインしてみてください。ヤマハのCLシリーズのフェーダーのノブは幅が1cmです。

**Q:** スクリーンロックを時間経過ではなくボタン操作で行ないたい。

**A:** [Page Control Button] ウィジェットを配置して、[Properties] エリアの [Control] にある [Page Control Action] で [Screen Lock] を選択してください。スクリーンロックしているときの画像を設定したい場合は、[Setup] ダイアログの [Security] タブで Screen Lock [Enable] チェックボックスにチェックを入れて、画像を設定してください。設定したあとに Screen Lock [Enable] チェックボックスのチェックを外すと時間経過によるスクリーンロックはかからなくなりますが、スクリーンロックしているときの画像設定は保持されます。ボタン操作と時間経過によるスクリーンロックは併用できます。

**Q:** ワークエリアのグリッドを消したい。

**A:** ページのプロパティの [Dot Color] で Alpha 値を 0 にしてください。

**Q:** 異なるサブネットの機器を操作したい。

**A:** 機器を登録するときに [Match Device by] リストボックスで [IP Address] を選択して IP アドレスを設定してください。[Unit ID] で登録した機器を IP アドレスに変える場合は、[Devices] エリアで機器を選択し、[Properties] エリアの [Identifier] の [Value] をクリックして、[Edit Device Identifier] ダイアログで変更してください。

**Q:** タッチパネル式のコンピューターで KIOSK を運用する場合の注意事項は何かあるか？

**A:** KIOSK をフルスクリーンで運用すると、キーボードを接続しないとコンピューターのシャットダウンなどの操作ができなくなります。どこかのページに [Page Control] ボタンウィジェットを配置して、[Properties] エリアの [Page Control Action] で [Close] を選択してください。そのボタンをタップするとコントローラーファイル読み込みの画面になり、KIOSK を終了できるようになります。また、スナップやシェイクなどの一部標準機能が動作しません。

## 困ったときは

症状	原因	対応
オンラインにならない。	ネットワークインターフェースカードの選択が間違っている。	[Setup] ダイアログで機器とつながっているネットワークインターフェースカードを選択してください。
	ネットワークインターフェースカードの設定が間違っている。	Windows 7 / 8.1の場合、スタートボタンをクリックして表示される検索ボックスにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。システムに接続するネットワークインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択して、IP/v4の設定が正しいことを確認してください。 Windows 10の場合、スタートボタン右側の検索ボックスまたはCortanaにncpa.cplと入力して、「ネットワーク接続」を開きます。システムに接続するネットワークインターフェースカードを右クリックして、[プロパティ]を選択して、IP/v4の設定が正しいことを確認してください。
	同時接続数の限度を超えた。	機器にはKIOSKやR Remoteなどが同時に接続できる数に限りがあります。とくにRシリーズ(AD/DA)やTio1608-Dは同時に接続できる数が2なので、ご注意ください。
	機器に関する設定が間違っている。	機器の識別情報の設定とProVisonaire Controlでの機器の識別情報の設定が合っていることを確認してください。
フロート化したエリアがディスプレイに表示されない。	フロート化したエリアがディスプレイ表示領域の外に移動した。	[View]メニューの[Dock All]コマンドを実行してください。